

第四次福山市総合計画策定に向けて

福山市の新しいまちづくりに関する
市民アンケート

- 集計結果 -

2005年(平成17年)8月

福 山 市

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査項目	1
(5) 分析方法	2
(6) 回収率	2
3. 回答者の属性	3
4. 調査結果	6
(1) 福山市への定住意向について	6
(2) まちづくりに対する関心や福山市らしさなどについて	8
(3) これまでの10年間の政策体系別評価(行政サービスなどに対する満足度・重要度)	11
(4) 今後の重点的な取組(福山市の将来像,重点的に行うべき取組)	28
(5) 家庭の情報化,将来の不安について	31
(6) 地域の活動,市民と行政の役割分担について	37
(7) 福山市が目指すべき将来像やまちづくりの在り方などに関する自由意見	43
5. 市民の問題意識とニーズのまとめ	44
資料編(アンケート調査票)	49

1. 調査の目的

福山市の目指すべき将来像やまちづくりの在り方などについて、市民の意向やニーズを把握し、新たな総合計画に反映するために、「福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート」を実施した。

2. 調査の仕様

(1) 調査対象

福山市及び神辺町に住民登録されている 20 歳以上の男女から 3,300 人を無作為に抽出。

(2) 調査方法

郵送により調査票を配布・回収。

(3) 調査期間

2005 年（平成 17 年）1 月 17 日（月）～ 1 月 31 日（月）

2005 年（平成 17 年）7 月 1 日（金）～ 7 月 15 日（金）（神辺町追加調査）

(4) 調査項目

福山市への定住意向について

- ・ 福山市への定住意向（問 1）
- ・ 引越したい理由（問 2）

まちづくりに対する関心や福山市らしさなどについて

- ・ まちづくりに対する関心の程度（問 3）
- ・ まちづくりに関心がない理由（問 4）
- ・ 福山市らしさをイメージするもの（問 5）

これまでの 10 年間の政策体系別評価（行政サービスなどに対する満足度・重要度）

- ・ 行政サービスなどについて良くなったもの、今後特に重要なもの（問 6）
- ・ 福山市への住みやすさに対する総合的な満足度（問 7）

今後の重点的な取組など（福山市の将来像、重点的に行うべき取組）

- ・ 今後のまちづくりを行う上での将来像や考え方（問 8）
- ・ 重点的に行うべき取組（問 9）

家庭の情報化, 将来の不安について

- ・ 利用している情報通信機器 (問 10)
- ・ 家庭でのインターネットの利用状況 (問 11)
- ・ 将来に対する不安の程度 (問 12)
- ・ 将来への不安の内容 (問 13)

地域の活動, 市民と行政の役割分担について

- ・ 参加している地域活動 (問 14)
- ・ 市民参加のまちづくりを活発にする方法 (問 15)
- ・ 参加したいまちづくりの内容 (問 16)
- ・ まちづくりへの参加の方法 (問 17)

回答者の属性

居住地域 (問 18), 性別 (問 19), 年齢 (問 20), 世帯構成 (問 21), 職業 (問 22), 通勤・通学先 (問 23), 居住年数 (問 24), 前住地 (問 25)

福山市が目指すべき将来像やまちづくりの在り方などに関する自由意見

(5) 分析方法

アンケート調査の分析方法としては、まず、単純集計を行い、どの選択肢への回答が多いかを把握した。次いで、年齢別等のクロス集計を行い、年齢別等による回答の相違を把握した。

なお、分析においては、回答数に対する各選択肢の割合を明確にする必要があることから、原則として、無回答を除く回答を母数とした割合を算出した。

ただし、問 6 の「行政サービスなどに対する満足度・重要度」については、2000 年 (平成 12 年) 調査と比較するために、本調査においても無回答を含めた全体を母数として回答の割合を算出した。

(6) 回収率

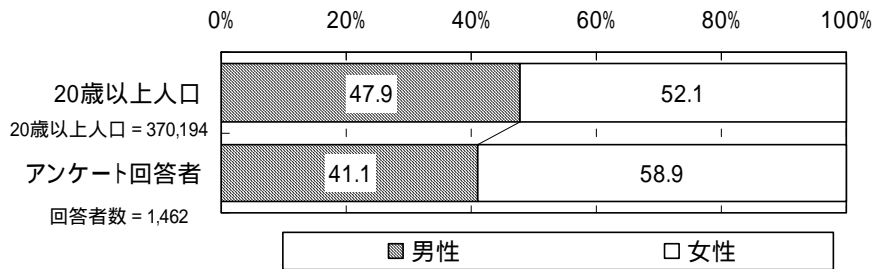
発送数	3,300 票
回収数	1,515 票
白票	4 票
有効回収数	1,511 票
有効回収率	45.8%

3. 回答者の属性

性別並びに年齢について福山市全体（神辺町を含む。）の20歳以上人口と比較した。

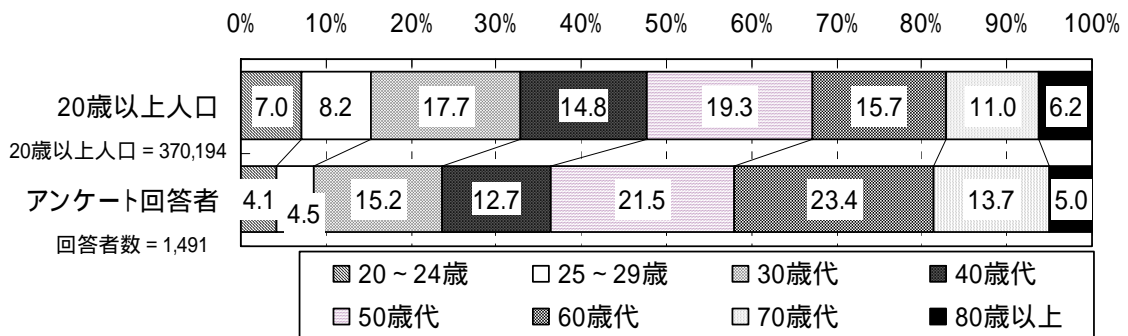
性別では若干女性の方が回答割合が高い。年齢では50歳未満の回答割合が少し低く、50歳から70歳代までは少し高くなっている。結果を見るに当たっては、こうした回答者の属性に留意する必要がある。

図表 1 回答者の性別



(注) 福山市（神辺町を含む。）20歳以上人口は2005年（平成17年）6月末現在。

図表 2 回答者の年齢



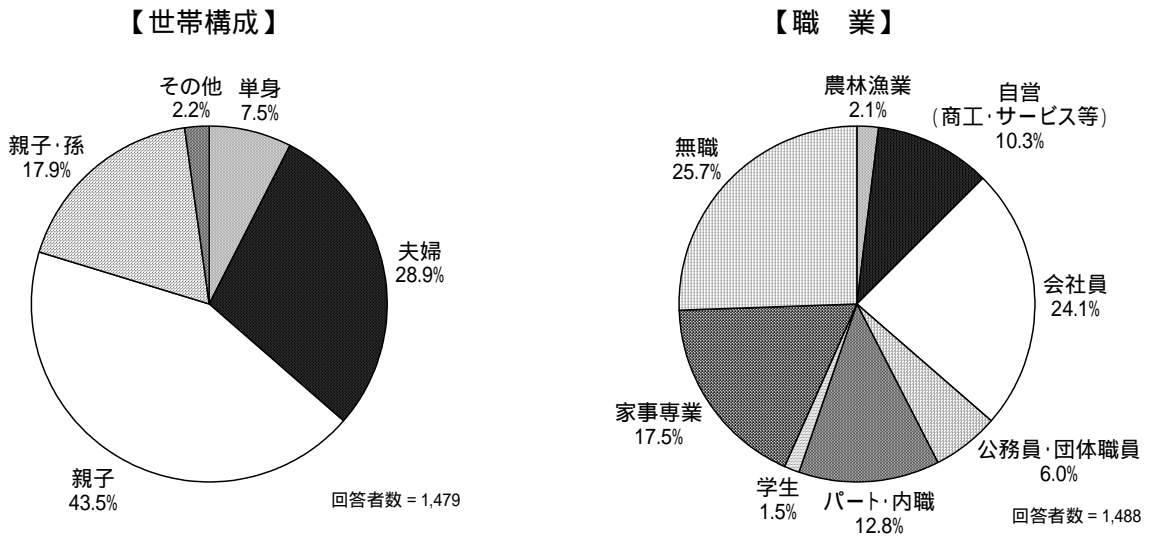
(注) 福山市（神辺町を含む。）20歳以上人口は2005年（平成17年）6月末現在。

回答者の世帯構成は、親子が半数弱で最も高く、職業は無職を除けば会社員や家事専業の割合が高い。

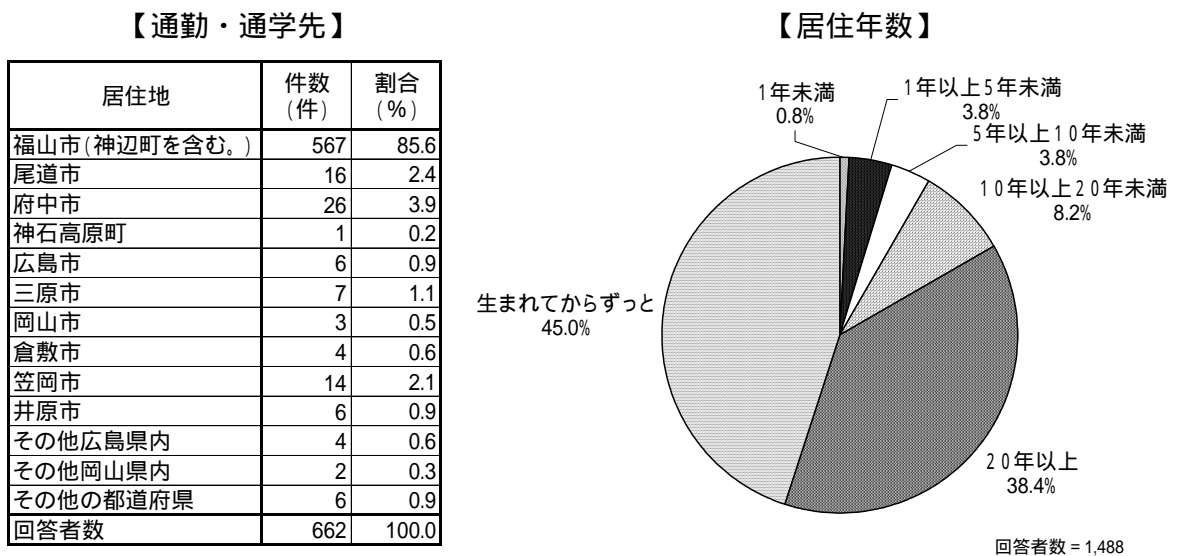
また、回答者の通勤通学先について見ると、福山市（神辺町を含む。）が8割を超えており、その他では、府中市や尾道市などの割合が高い。

居住年数は、多い順に「生まれてからずっと」が45.0%、「20年以上」が38.4%となっており、これら20年以上福山市（神辺町を含む。）に住んでいる回答者は、全体の8割を超えている。

図表 3 回答者の世帯構成・職業



図表 4 回答者の通勤・通学先，居住年数



回答者の居住地域は、図表 5 のとおりである。

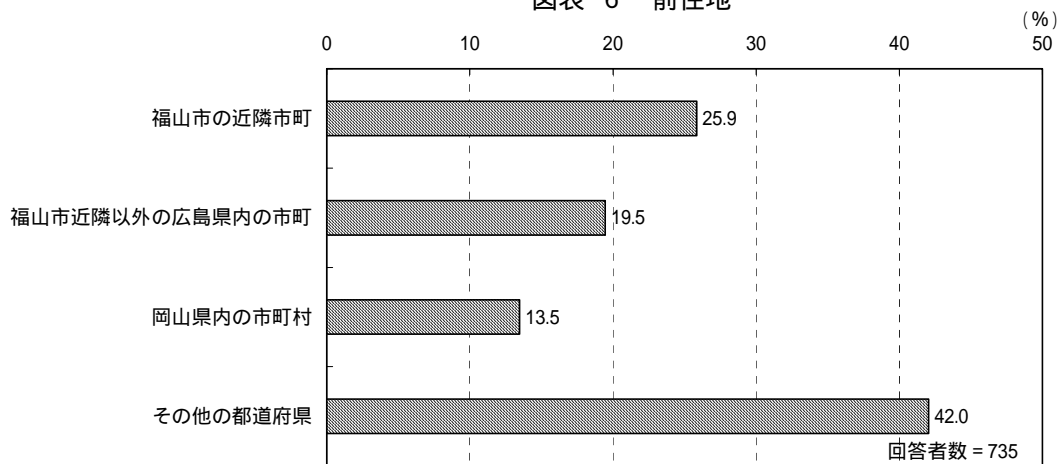
なお、前住地については、「その他の都道府県」が 42.0%で最も多い。

図表 5 回答者の居住地域

地域	件数 (件)	割合 (%)
中央	569	38.4
東部	274	18.5
西部	117	7.9
南部	94	6.3
北部	173	11.7
内海	15	1.0
新市	80	5.4
沼隈	25	1.7
神辺	135	9.1
計	1,482	100.0
無回答	29	

地域	中学校区
中央	東, 城北, 城南, 鷹取, 幸千, 済美, 中央, 誠之, 城西
東部	城東, 鳳, 培遠, 大門, 一ツ橋, 東朋
西部	大成館, 松永, 精華
南部	向丘, 鞆, 走島, 至誠
北部	芦田, 山野, 広瀬, 加茂, 駅家, 駅家南
内海	内海
新市	常金, 新市中央
沼隈	千年
神辺	神辺西, 神辺東, 神辺

図表 6 前住地



4. 調査結果

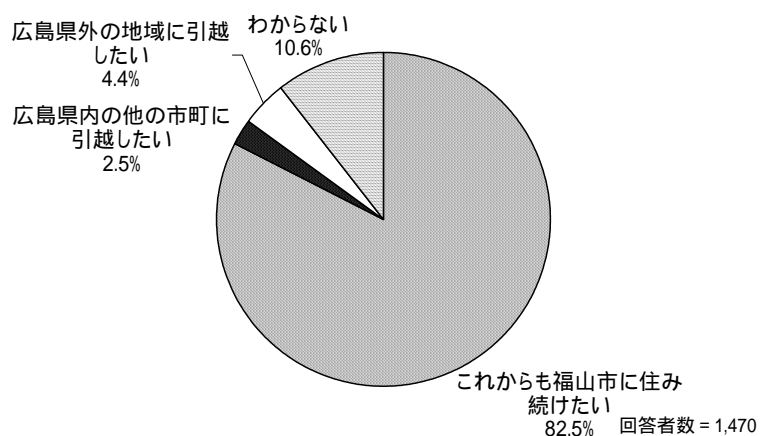
(1) 福山市への定住意向について

福山市への定住意向(問1)[単数回答]

福山市への定住意向については、「これからも福山市に住み続けたい」とする回答者が8割を超えている。

年齢別に見ると、「これからも福山市に住み続けたい」とする回答者は年齢が上がるにつれて上昇し、一方、「引越したい」や「分からない」は年齢が下がるにつれて上昇する傾向がある。

図表 7 福山市への定住意向



図表 8 年齢別に見た「福山市への定住意向」

	回答者数	にこ住れみか続らけもた福山市	町広に島引県内のし他の市	引広越島した外の地域に	わからぬい
全体	1,470	1,213	37	64	156
	100.0	82.5	2.5	4.4	10.6
20～24歳	61	46	0	3	12
	100.0	75.4	0.0	4.9	19.7
25～29歳	66	37	5	8	16
	100.0	56.1	7.6	12.1	24.2
30歳代	218	160	6	13	39
	100.0	73.4	2.8	6.0	17.9
40歳代	185	141	4	11	29
	100.0	76.2	2.2	5.9	15.7
50歳代	316	262	12	16	26
	100.0	82.9	3.8	5.1	8.2
60歳代	338	303	8	8	19
	100.0	89.6	2.4	2.4	5.6
70歳代	198	184	2	3	9
	100.0	92.9	1.0	1.5	4.5
80歳以上	70	69	0	0	1
	100.0	98.6	0.0	0.0	1.4

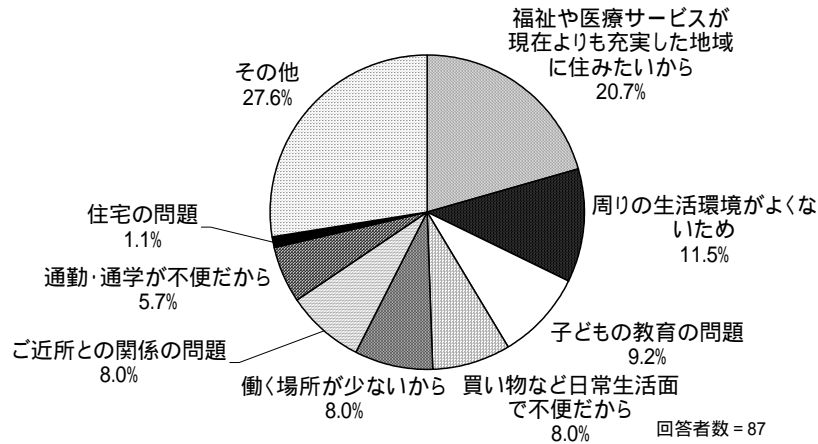
(注) 上段: 実数, 下段: %。

引越したい理由(問2)[単数回答]

引越したいとする回答者に対してその理由を質問したところ、「福祉や医療サービスが現在よりも充実した地域に住みたいから」が約2割で最も多く、次いで、「周りの生活環境がよくないため」(11.5%)、「子どもの教育の問題」(9.2%)などとなっている。

「引越したい理由」の回答者は87名であるため、年齢別にクロス集計を行うと、それぞれの回答は非常に少なくなるが、参考までに図表10に年齢別の結果を掲載している。

図表9 引越したい理由



図表10 年齢別に見た「引越したい理由」

	回答者数	福祉や医療サービスが充実した地域に住みたいから	周りの生活環境がよいため	子どもの教育の問題	買い物など日常生活面で不便だから	働く場所が少ないから	ご近所との関係の問題	通勤・通学が不便だから	住宅の問題	その他
全体	87	18	10	8	7	7	7	5	1	24
	100.0	20.7	11.5	9.2	8.0	8.0	8.0	5.7	1.1	27.6
20～24歳	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
25～29歳	10	1	1	0	1	1	0	1	0	5
	100.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	50.0
30歳代	17	1	2	4	1	3	0	2	0	4
	100.0	5.9	11.8	23.5	5.9	17.6	0.0	11.8	0.0	23.5
40歳代	14	2	2	4	2	0	1	2	0	1
	100.0	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	7.1	14.3	0.0	7.1
50歳代	24	7	3	0	0	2	2	0	0	10
	100.0	29.2	12.5	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	41.7
60歳代	13	5	1	0	2	0	4	0	0	1
	100.0	38.5	7.7	0.0	15.4	0.0	30.8	0.0	0.0	7.7
70歳代	5	2	0	0	1	0	0	0	1	1
	100.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
80歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 上段:実数, 下段: %。

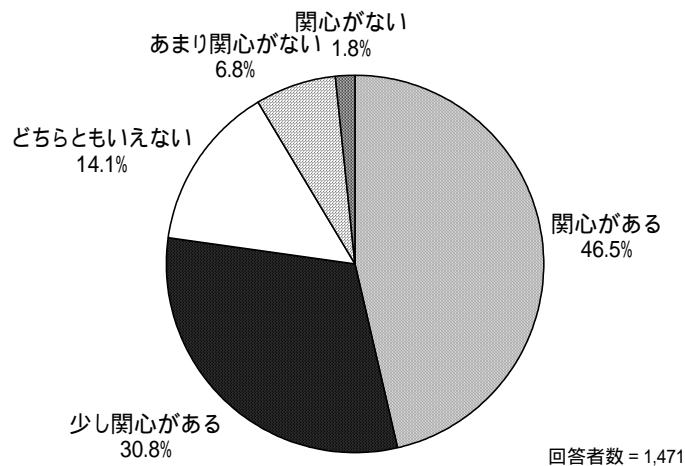
(2) まちづくりに対する関心や福山市らしさなどについて

まちづくりに対する関心の程度(問3)[単数回答]

福山市のまちづくりに対する関心は、「関心がある」「少し関心がある」を合わせて8割弱となっており、市民のまちづくりに対する関心の高さが分かる。

年齢別に見ると、年齢が上がるにつれて関心のある割合が高まり、逆に年齢が下がるにつれて関心がない、又はどちらとも言えないとする回答者の割合が高くなっている。

図表 1 1 まちづくりに対する関心の程度



図表 1 2 年齢別に見た「まちづくりに対する関心の程度」

	回答者数	関心がある	少し関心がある	どちらとも言えない	あまり関心がない	関心がない
全体	1,471	684	453	208	100	26
	100.0	46.5	30.8	14.1	6.8	1.8
20～24歳	60	15	17	16	8	4
	100.0	25.0	28.3	26.7	13.3	6.7
25～29歳	64	12	30	13	8	1
	100.0	18.8	46.9	20.3	12.5	1.6
30歳代	217	68	85	42	17	5
	100.0	31.3	39.2	19.4	7.8	2.3
40歳代	184	81	56	29	14	4
	100.0	44.0	30.4	15.8	7.6	2.2
50歳代	316	135	107	44	28	2
	100.0	42.7	33.9	13.9	8.9	0.6
60歳代	343	208	86	31	15	3
	100.0	60.6	25.1	9.0	4.4	0.9
70歳代	198	115	52	24	6	1
	100.0	58.1	26.3	12.1	3.0	0.5
80歳以上	71	42	16	7	3	3
	100.0	59.2	22.5	9.9	4.2	4.2

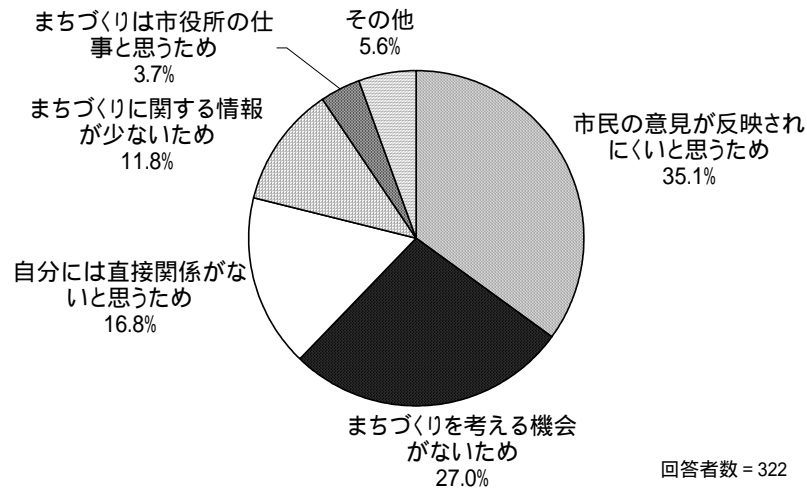
(注) 上段:実数, 下段: %。

まちづくりに関心がない理由(問4)[単数回答]

福山市のまちづくりに関心がないとする回答者は、「市民の意見が反映されにくいと思うため」(35.1%)や「まちづくりを考える機会がないため」(27.0%)などの理由を挙げている。

年齢別のクロス集計結果は、図表 14 のとおりであり、それぞれ回答数は少ないが、20～24 歳における「自分には直接関係がないと思うため」の回答が他の年代と比べて高い。

図表 13 まちづくりに関心がない理由



図表 14 年齢別に見た「まちづくりに関心がない理由」

	回答者数	市民の意見が反映されにくい	まちづくりを考える機会がない	自分には直接関係がない	まちづくりに関する情報が少ない	まちづくりは市役所の仕事	その他
全体	322	113	87	54	38	12	18
	100.0	35.1	27.0	16.8	11.8	3.7	5.6
20～24歳	26	5	7	10	0	0	4
	100.0	19.2	26.9	38.5	0.0	0.0	15.4
25～29歳	21	8	7	4	2	0	0
	100.0	38.1	33.3	19.0	9.5	0.0	0.0
30歳代	63	21	20	9	6	3	4
	100.0	33.3	31.7	14.3	9.5	4.8	6.3
40歳代	47	18	12	5	7	2	3
	100.0	38.3	25.5	10.6	14.9	4.3	6.4
50歳代	73	29	23	9	9	1	2
	100.0	39.7	31.5	12.3	12.3	1.4	2.7
60歳代	46	16	11	7	7	2	3
	100.0	34.8	23.9	15.2	15.2	4.3	6.5
70歳代	29	10	5	5	5	2	2
	100.0	34.5	17.2	17.2	17.2	6.9	6.9
80歳以上	11	2	2	3	2	2	0
	100.0	18.2	18.2	27.3	18.2	18.2	0.0

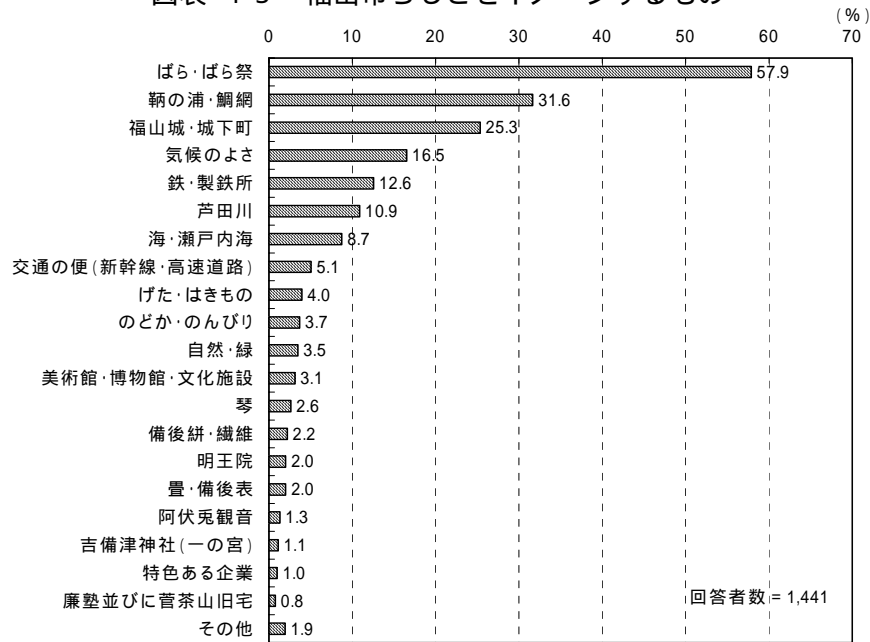
(注) 上段:実数, 下段: %。

福山市らしさをイメージするもの(問5)[複数回答]

福山市らしさについて質問したところ、「ばら・ばら祭」という意見が約6割で最も多いという結果になった。次いで、「鞆の浦・鯛網」(31.6%)、「福山城・城下町」(25.3%)が2割を超えており、その他、「気候のよさ」(16.5%)、「鉄・製鉄所」(12.6%)、「芦田川」(10.9%)なども比較的多い意見であった。

年齢別に見た場合、25～30歳代の「ばら・ばら祭」、30歳代の「鞆の浦・鯛網」、70歳代の「福山城・城下町」という回答が他の年代と比べて高い。

図表 15 福山市らしさをイメージするもの



図表 16 年齢別に見た「福山市らしさをイメージするもの」

	回答者数	ばら・ばら祭	鞆の浦・鯛網	福山城・城下町	気候のよさ	鉄・製鉄所	芦田川	海・瀬戸内海	線・交通の便(新幹線・高速道路)	げた・はきもの	のどか・のんびり	自然・緑	美術館・博物館・文化施設	琴	備後餅・織維	明王院	畳・備後表	阿伏兎観音	吉備津神社(一の宮)	特色ある企業	山廉塾並びに菅茶山旧宅	その他
全体	1,441	834	456	365	238	181	157	126	73	57	53	50	45	38	32	29	29	19	16	14	11	28
	100.0	57.9	31.6	25.3	16.5	12.6	10.9	8.7	5.1	4.0	3.7	3.5	3.1	2.6	2.2	2.0	2.0	1.3	1.1	1.0	0.8	1.9
20～24歳	58	38	10	14	3	12	12	3	2	3	4	1	0	2	2	1	0	1	1	0	0	4
	100.0	65.5	17.2	24.1	5.2	20.7	20.7	5.2	3.4	5.2	6.9	1.7	0.0	3.4	3.4	1.7	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	6.9
25～29歳	63	47	18	13	4	12	7	5	4	3	3	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	1
	100.0	74.6	28.6	20.6	6.3	19.0	11.1	7.9	6.3	4.8	4.8	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6
30歳代	210	152	96	35	26	20	27	13	7	9	6	1	3	3	2	4	1	3	0	2	0	6
	100.0	72.4	45.7	16.7	12.4	9.5	12.9	6.2	3.3	4.3	2.9	0.5	1.4	1.4	1.0	1.9	0.5	1.4	0.0	1.0	0.0	2.9
40歳代	184	116	65	48	22	30	19	17	4	9	9	2	1	5	7	6	4	1	0	2	1	3
	100.0	63.0	35.3	26.1	12.0	16.3	10.3	9.2	2.2	4.9	4.9	1.1	0.5	2.7	3.8	3.3	2.2	0.5	0.0	1.1	0.5	1.6
50歳代	308	179	97	67	59	47	38	27	13	17	13	10	6	10	7	3	8	2	5	3	0	4
	100.0	58.1	31.5	21.8	19.2	15.3	12.3	8.8	4.2	5.5	4.2	3.2	1.9	3.2	2.3	1.0	2.6	0.6	1.6	1.0	0.0	1.3
60歳代	333	166	89	87	74	35	33	31	21	13	12	19	16	8	8	11	10	6	6	3	4	5
	100.0	49.8	26.7	26.1	22.2	10.5	9.9	9.3	6.3	3.9	3.6	5.7	4.8	2.4	2.4	3.3	3.0	1.8	1.8	0.9	1.2	1.5
70歳代	200	96	58	78	31	17	14	24	12	1	4	13	15	5	2	0	6	3	2	3	5	3
	100.0	48.0	29.0	39.0	15.5	8.5	7.0	12.0	6.0	0.5	2.0	6.5	7.5	2.5	1.0	0.0	3.0	1.5	1.0	1.5	2.5	1.5
80歳以上	68	34	19	20	17	4	7	3	8	2	2	3	3	1	2	3	0	2	1	0	1	0
	100.0	50.0	27.9	29.4	25.0	5.9	10.3	4.4	11.8	2.9	2.9	4.4	4.4	1.5	2.9	4.4	0.0	2.9	1.5	0.0	1.5	0.0

(注) 上段:実数, 下段: %。

(3) これまでの10年間の政策体系別評価(行政サービスなどに対する満足度・重要度)
(問6)[複数回答]

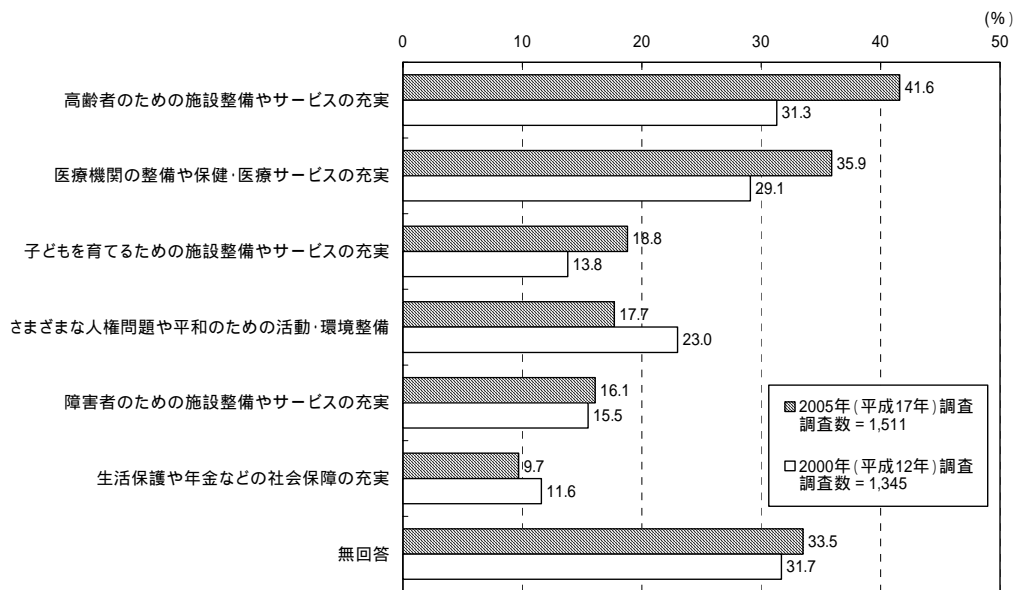
心ふれあい健やかに安心して暮らせるまち

[以前より良くなったもの]

「高齢者のための施設整備やサービスの充実」や「医療機関の整備や保健・医療サービスの充実」が特に高い。また、これらのサービスのほか、「子どもを育てるための施設整備やサービスの充実」は2000年(平成12年)調査よりも割合が高くなっている。

年齢別に見ると、高齢者福祉や医療、社会保障の充実については年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向がある。

図表 17 「心ふれあい健やかに安心して暮らせるまち」のうち「以前より良くなったもの」



図表 18 年齢別に見た「以前より良くなったもの」

	調査数	の設高 充整 実備 者 や の サ ー ビ ス の 充 実	ス保医 の健 充・機 実充 実医 療サ ー ビ ス の 充 実	サめ子 ーのど ビ施も ス設を の整育 充備て 実やる た	活題さ 動やま ・平ざ 環和な 境の 整た人 備権 め問	の設障 充整 実備 者 や の サ ー ビ ス の 充 実	実ど生 の活 社保 会保 や障 年 の金 充な	無 回 答
全体	1,511	629 41.6	542 35.9	284 18.8	267 17.7	243 16.1	147 9.7	506 33.5
20~24歳	61	21 34.4	15 24.6	6 9.8	6 9.8	11 18.0	2 3.3	29 47.5
25~29歳	67	19 28.4	14 20.9	12 17.9	3 4.5	9 13.4	3 4.5	35 52.2
30歳代	226	69 30.5	78 34.5	53 23.5	23 10.2	30 13.3	6 2.7	86 38.1
40歳代	190	69 36.3	54 28.4	30 15.8	31 16.3	20 10.5	10 5.3	69 36.3
50歳代	320	135 42.2	101 31.6	61 19.1	58 18.1	55 17.2	19 5.9	99 30.9
60歳代	349	168 48.1	149 42.7	59 16.9	74 21.2	61 17.5	51 14.6	91 26.1
70歳代	204	110 53.9	93 45.6	49 24.0	52 25.5	42 20.6	41 20.1	59 28.9
80歳以上	74	32 43.2	33 44.6	11 14.9	18 24.3	13 17.6	14 18.9	25 33.8

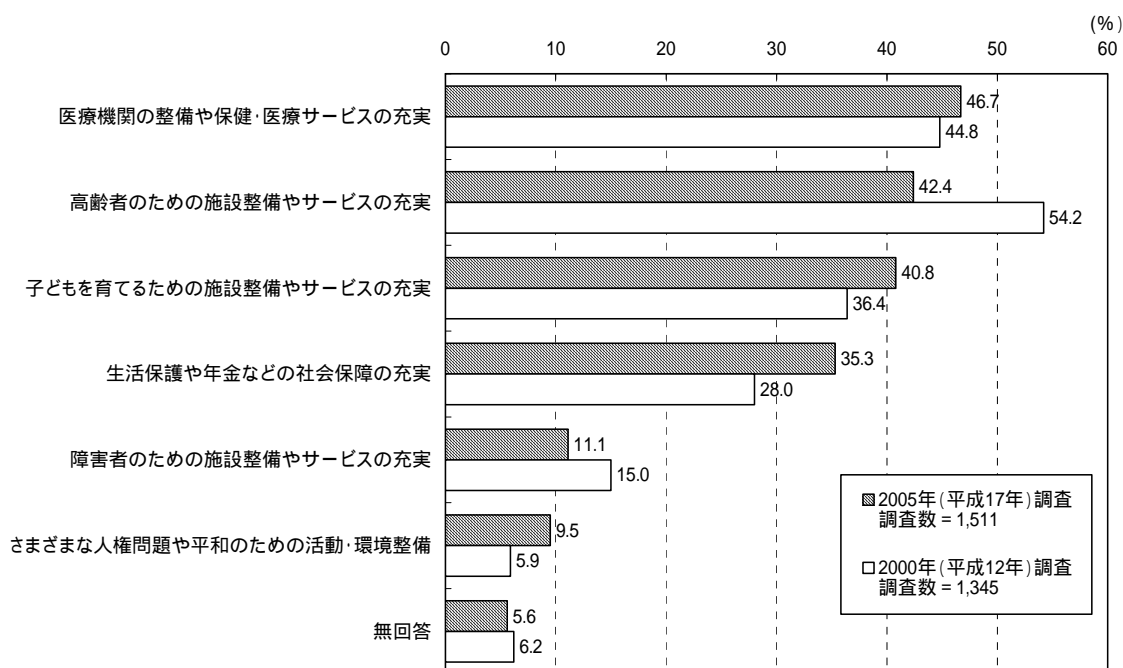
(注)上段:実数,下段:%。

【今後特に重要なもの】

今後特に重要なものとしては、2000年（平成12年）調査で最も割合の高かった「高齢者のための施設整備やサービスの充実」を上回って、「医療機関の整備や保健・医療サービスの充実」が最も高くなっている。

年齢別では、25～30歳代の「子どもを育てるための施設整備やサービスの充実」が特に高く、「高齢者のための施設整備やサービスの充実」は、おおむね年齢が上がるにつれて割合が高くなっている。

図表 19 「心ふれあい健やかに安心して暮らせるまち」のうち「今後特に重要なもの」



図表 20 年齢別に見た「今後特に重要なもの」

	調査数	医療機関の整備や保健・医療サービスの充実 (%)	高齢者のための施設整備やサービスの充実 (%)	子どもを育てるための施設整備やサービスの充実 (%)	生活保護や年金などの社会保障の充実 (%)	障害者のための施設整備やサービスの充実 (%)	活動やまな環境を整えたい (%)	無回答 (%)
全体	1,511	46.7	42.4	40.8	35.3	11.1	9.5	5.6
20～24歳	61	29	15	27	18	7	7	9
25～29歳	67	47.5	24.6	44.3	29.5	11.5	11.5	14.8
30歳代	226	43.3	23	42	19	4	7	3
40歳代	190	43.3	34.3	62.7	28.4	6.0	10.4	4.5
50歳代	320	52.2	23.9	62.4	27.9	16.4	5.3	3.5
60歳代	349	52.1	37.9	38.4	33.2	16.3	13.2	6
70歳代	204	45.9	47.2	37.8	40.3	9.1	8.4	3.4
80歳以上	74	36.5	45.9	29.7	31.1	6.8	13.5	20.3

(注) 上段:実数, 下段: %。

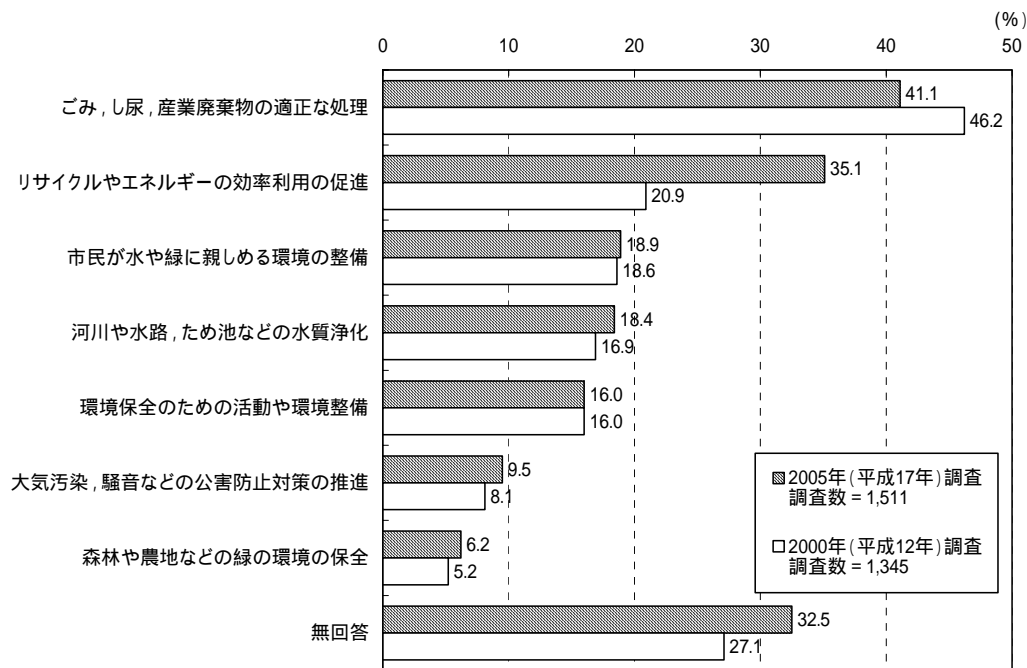
自然とともに生きるまち

【以前より良くなったもの】

2000年（平成12年）調査と同様に「ごみ、し尿、産業廃棄物の適正な処理」が最も高いが、2番目に高い「リサイクルやエネルギーの効率利用の促進」については、2000年（平成12年）調査の割合を大きく上回っている。

年齢別に見た場合、60歳代以上の「ごみ、し尿、産業廃棄物の適正な処理」や70歳代の「環境保全のための活動や環境整備」の割合が高い。

図表 2 1 「自然とともに生きるまち」のうち「以前より良くなったもの」



図表 2 2 年齢別に見た「以前より良くなったもの」

	調査数	ごみ、し尿、産業廃棄物の適正な処理	リサイクルやエネルギーの効率利用の促進	市民が水や緑に親しめる環境の整備	河川や水路、ため池などの水質浄化	環境保全のための活動や環境整備	大気汚染、騒音などの公害防止対策の推進	森林や農地などの緑の環境の保全	無回答
全体	1,511 100.0	621 41.1	530 35.1	285 18.9	278 18.4	242 16.0	144 9.5	94 6.2	491 32.5
20～24歳	61 100.0	18 29.5	18 29.5	13 21.3	9 14.8	7 11.5	3 4.9	5 8.2	25 41.0
25～29歳	67 100.0	11 16.4	18 26.9	6 9.0	7 10.4	6 9.0	5 7.5	1 1.5	32 47.8
30歳代	226 100.0	55 24.3	78 34.5	37 16.4	29 12.8	30 13.3	11 4.9	12 5.3	90 39.8
40歳代	190 100.0	62 32.6	72 37.9	28 14.7	27 14.2	28 14.7	15 7.9	10 5.3	70 36.8
50歳代	320 100.0	133 41.6	114 35.6	62 19.4	53 16.6	42 13.1	33 10.3	10 3.1	93 29.1
60歳代	349 100.0	190 54.4	135 38.7	69 19.8	80 22.9	63 18.1	39 11.2	26 7.4	84 24.1
70歳代	204 100.0	109 53.4	64 31.4	54 26.5	55 27.0	54 26.5	26 12.7	21 10.3	59 28.9
80歳以上	74 100.0	39 52.7	24 32.4	14 18.9	17 23.0	11 14.9	9 12.2	7 9.5	25 33.8

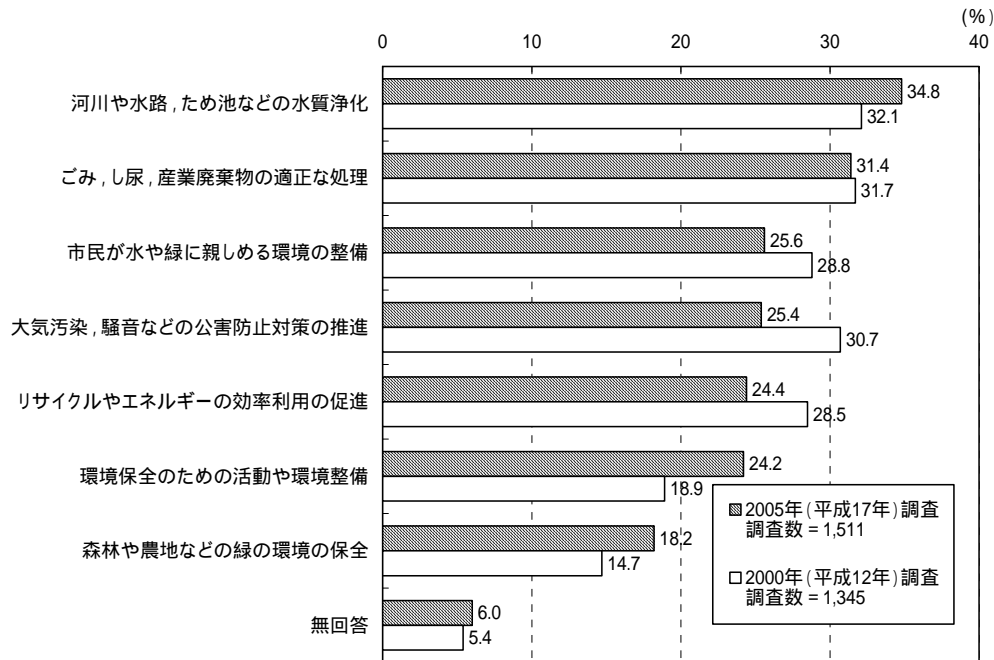
(注) 上段:実数, 下段: %。

【今後特に重要なもの】

今後特に重要なものとしては、「河川や水路，ため池などの水質浄化」や「ごみ，し尿，産業廃棄物の適正な処理」などが高い。

また，年齢別では，20～24歳において「ごみ，し尿，産業廃棄物の適正な処理」の割合が低いことを除いて，顕著な相違は見られない。

図表 23 「自然とともに生きるまち」のうち「今後特に重要なもの」



図表 24 年齢別に見た「今後特に重要なもの」

	調査数	河川や水路，ため池などの水質浄化	ごみ，し尿，産業廃棄物の適正な処理	市民が水や緑に親しめる環境の整備	大気汚染，騒音などの公害防止対策の推進	リサイクルやエネルギーの効率利用の促進	環境保全のための活動や環境整備	森林や農地などの緑の環境の保全	無回答
全体	1,511 100.0	526 34.8	475 31.4	387 25.6	384 25.4	369 24.4	365 24.2	275 18.2	91 6.0
20～24歳	61 100.0	22 36.1	12 19.7	14 23.0	18 29.5	14 23.0	14 23.0	8 13.1	8 13.1
25～29歳	67 100.0	19 28.4	19 28.4	22 32.8	13 19.4	20 29.9	16 23.9	10 14.9	6 9.0
30歳代	226 100.0	90 39.8	62 27.4	58 25.7	61 27.0	67 29.6	39 17.3	31 13.7	14 6.2
40歳代	190 100.0	64 33.7	56 29.5	51 26.8	41 21.6	64 33.7	54 28.4	34 17.9	5 2.6
50歳代	320 100.0	98 30.6	105 32.8	72 22.5	92 28.8	72 22.5	89 27.8	70 21.9	13 4.1
60歳代	349 100.0	121 34.7	131 37.5	95 27.2	96 27.5	78 22.3	75 21.5	70 20.1	13 3.7
70歳代	204 100.0	75 36.8	61 29.9	54 26.5	45 22.1	38 18.6	57 27.9	41 20.1	16 7.8
80歳以上	74 100.0	27 36.5	24 32.4	16 21.6	14 18.9	12 16.2	18 24.3	6 8.1	14 18.9

(注) 上段:実数，下段: %。

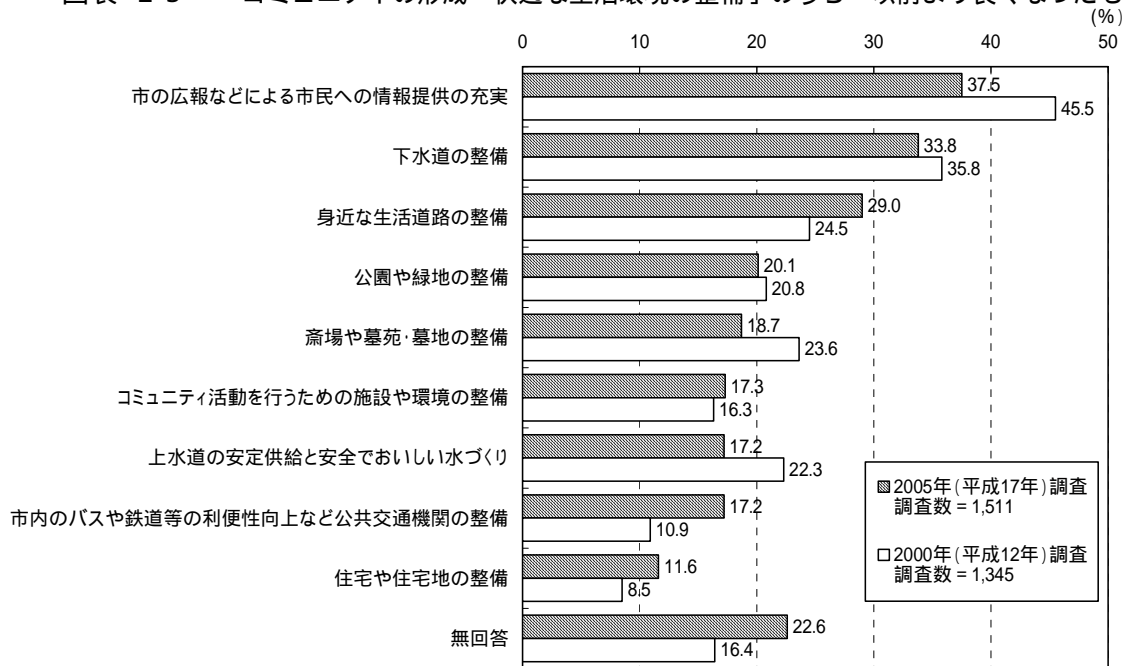
コミュニティの形成・快適な生活環境の整備

【以前より良くなったもの】

「市の広報などによる市民への情報提供の充実」や「下水道の整備」などが高い。

年齢別に見ると、60歳代の「下水道の整備」、70歳代の「市の広報などによる市民への情報提供の充実」が他の年代と比較して高い。

図表 25 「コミュニティの形成・快適な生活環境の整備」のうち「以前より良くなったもの」



図表 26 年齢別に見た「以前より良くなったもの」

	調査数	市の広報などによる市民への情報提供の充実	下水道の整備	身近な生活道路の整備	公園や緑地の整備	斎場や墓苑・墓地の整備	コミュニティ活動のための施設や環境の整備	上水道の安定供給と安全でおいしい水づくり	市内のバスや鉄道等の利便性向上など公共交通機関の整備	住宅や住宅地の整備	無回答
全体	1,511	37.5	33.8	29.0	20.1	18.7	17.3	17.2	17.2	11.6	22.6
20～24歳	61	17	14	20	11	4	8	4	11	10	20
25～29歳	67	15	8	18	10	4	10	1	17	10	18
30歳代	226	76	53	55	43	19	35	11	39	35	56
40歳代	190	53	41	51	27	33	28	12	29	26	52
50歳代	320	112	125	93	59	64	55	47	39	26	72
60歳代	349	158	154	102	78	84	58	88	56	34	54
70歳代	204	105	81	69	59	52	51	73	48	26	38
80歳以上	74	26	29	28	15	20	14	21	18	7	20
	100.0	35.1	39.2	37.8	20.3	27.0	18.9	28.4	24.3	9.5	27.0

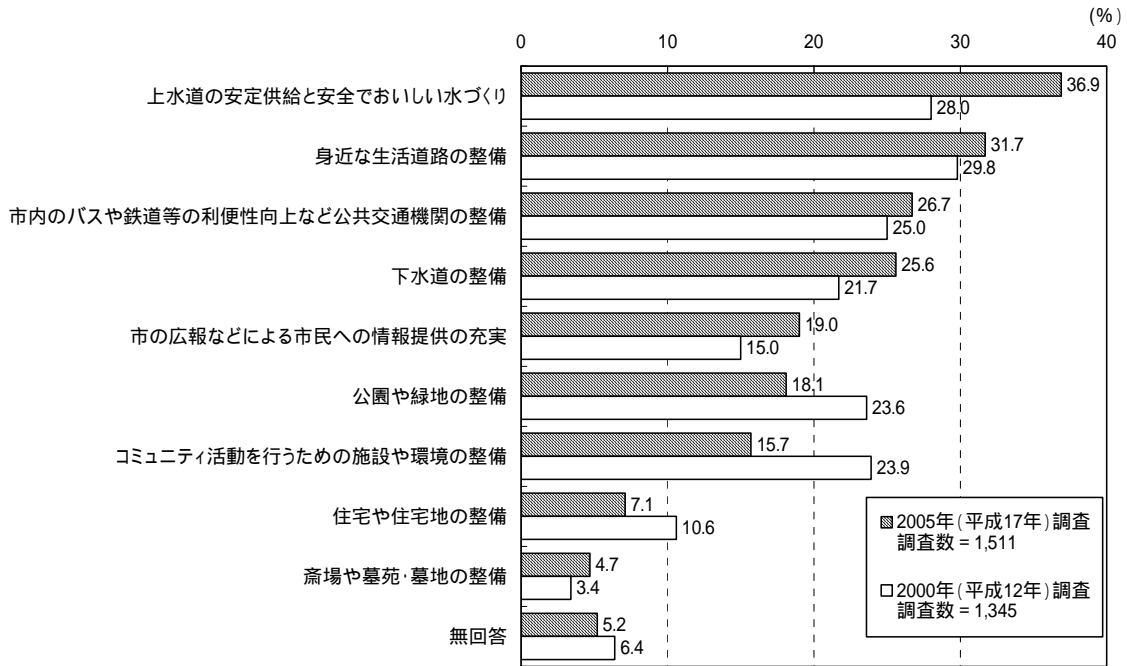
(注) 上段:実数, 下段: %。

【今後特に重要なもの】

今後は、「上水道の安定供給と安全でおいしい水づくり」のほか、「身近な生活道路の整備」が特に重要と考えられている。

なお、年齢別では、特に顕著な相違は見られない。

図表 27 「コミュニティの形成・快適な生活環境の整備」のうち「今後特に重要なもの」



図表 28 年齢別に見た「今後特に重要なもの」

	調査数	水と上水道の安定供給	身近な生活道路の整備	市内の公共交通機関の整備	下水道の整備	市の広報など情報提供の充実	公園や緑地の整備	コミュニティ活動の整備	住宅や住宅地の整備	斎場や墓苑・墓地の整備	無回答
全体	1,511 100.0	558 36.9	479 31.7	403 26.7	387 25.6	287 19.0	274 18.1	237 15.7	107 7.1	71 4.7	78 5.2
20～24歳	61 100.0	16 26.2	16 26.2	22 36.1	13 21.3	14 23.0	14 23.0	8 13.1	3 4.9	1 1.6	6 9.8
25～29歳	67 100.0	21 31.3	23 34.3	21 31.3	12 17.9	12 17.9	15 22.4	5 7.5	7 10.4	4 6.0	4 6.0
30歳代	226 100.0	77 34.1	66 29.2	66 29.2	64 28.3	35 15.5	57 25.2	32 14.2	24 10.6	6 2.7	9 4.0
40歳代	190 100.0	66 34.7	71 37.4	62 32.6	53 27.9	32 16.8	35 18.4	38 20.0	7 3.7	7 3.7	2 1.1
50歳代	320 100.0	120 37.5	93 29.1	81 25.3	82 25.6	68 21.3	54 16.9	61 19.1	20 6.3	15 4.7	17 5.3
60歳代	349 100.0	140 40.1	112 32.1	80 22.9	101 28.9	70 20.1	53 15.2	59 16.9	24 6.9	24 6.9	10 2.9
70歳代	204 100.0	84 41.2	73 35.8	54 26.5	38 18.6	41 20.1	28 13.7	24 11.8	19 9.3	11 5.4	14 6.9
80歳以上	74 100.0	27 36.5	19 25.7	12 16.2	22 29.7	13 17.6	10 13.5	10 13.5	2 2.7	1 1.4	13 17.6

(注) 上段:実数, 下段: %。

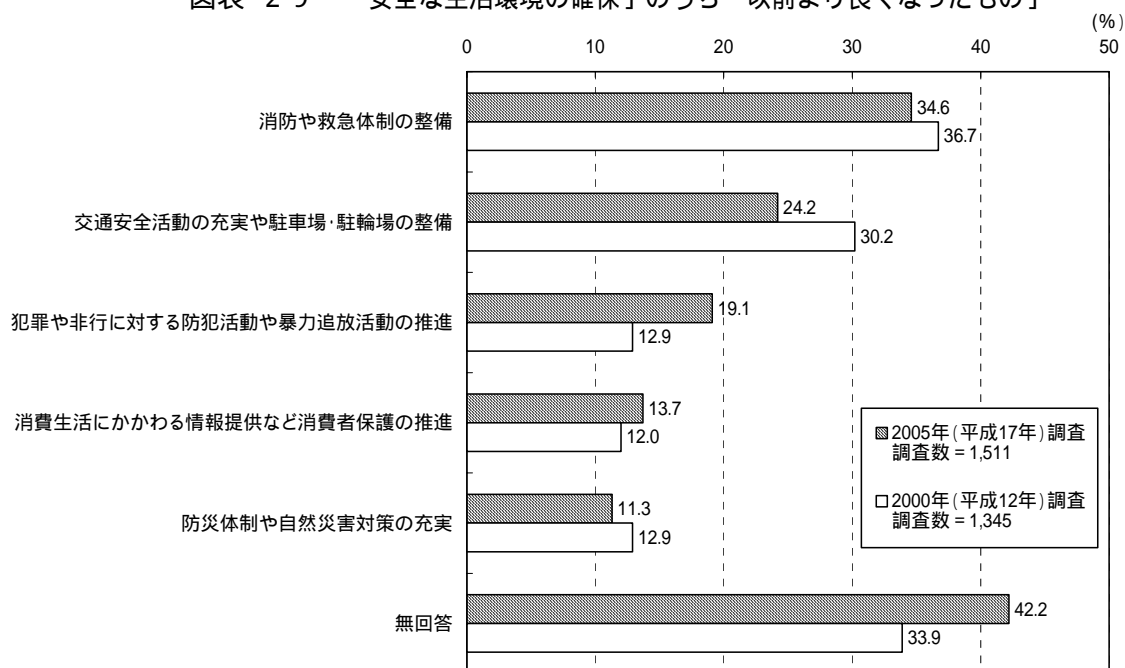
安全な生活環境の確保

【以前より良くなったもの】

「消防や救急体制の整備」や「交通安全活動の充実や駐車場・駐輪場の整備」などの割合が高い。

また、年齢別に見ると「消防や救急体制の整備」は、おおむね年齢が上がるにつれて割合が高くなっている。

図表 29 「安全な生活環境の確保」のうち「以前より良くなったもの」



図表 30 年齢別に見た「以前より良くなったもの」

	調査数	消防や救急体制の整備	交通安全活動の充実や駐車場・駐輪場の整備	犯罪や非行に対する防犯活動や暴力追放活動の推進	消費生活にかかわる情報提供など消費者保護の推進	防災体制や自然災害対策の充実	無回答
全体	1,511 100.0	523 34.6	366 24.2	289 19.1	207 13.7	170 11.3	637 42.2
20～24歳	61 100.0	10 16.4	16 26.2	9 14.8	9 14.8	4 6.6	31 50.8
25～29歳	67 100.0	11 16.4	18 26.9	6 9.0	8 11.9	1 1.5	35 52.2
30歳代	226 100.0	52 23.0	45 19.9	30 13.3	25 11.1	16 7.1	114 50.4
40歳代	190 100.0	49 25.8	41 21.6	40 21.1	19 10.0	8 4.2	93 48.9
50歳代	320 100.0	99 30.9	68 21.3	58 18.1	43 13.4	35 10.9	140 43.8
60歳代	349 100.0	162 46.4	96 27.5	72 20.6	47 13.5	54 15.5	112 32.1
70歳代	204 100.0	101 49.5	63 30.9	51 25.0	41 20.1	36 17.6	69 33.8
80歳以上	74 100.0	33 44.6	17 23.0	18 24.3	14 18.9	13 17.6	31 41.9

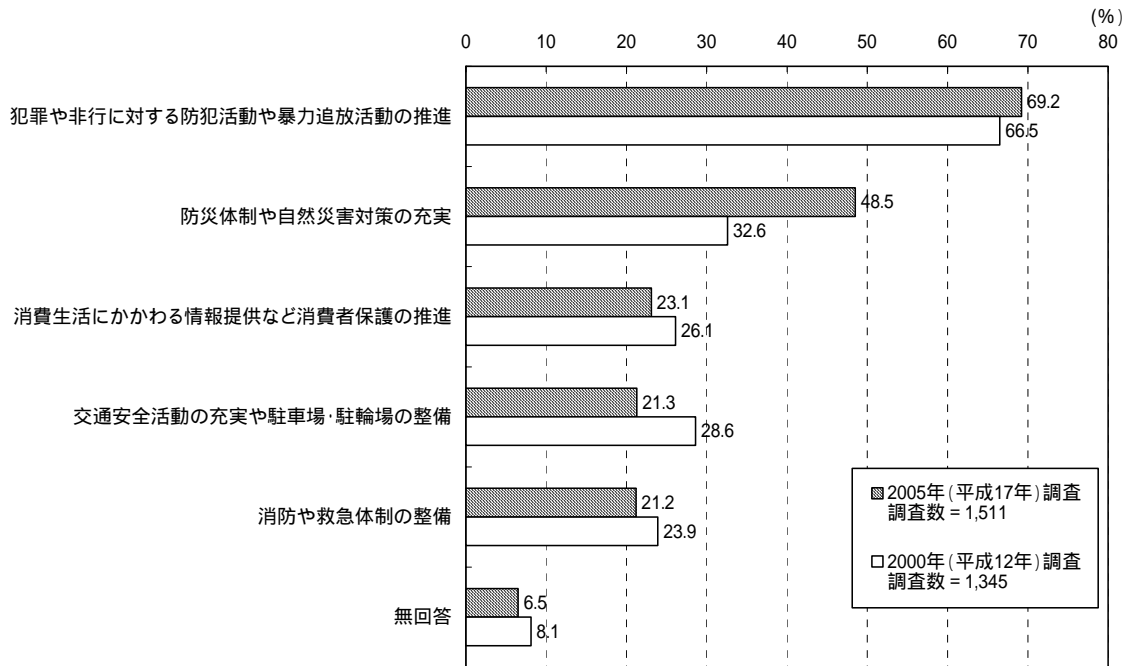
(注) 上段:実数, 下段: %。

【今後特に重要なもの】

今後特に重要なものとしては、「犯罪や非行に対する防犯活動や暴力追放活動の推進」が7割弱で最も高い。また、「防災体制や自然災害対策の充実」については、2000年（平成12年）調査よりもかなり高くなっている。

年齢別に見た場合、25～29歳の「交通安全活動の充実や駐車場・駐輪場の整備」が他の年代と比べて高い。

図表 3 1 「安全な生活環境の確保」のうち「今後特に重要なもの」



図表 3 2 年齢別に見た「今後特に重要なもの」

	調査数	追う犯罪や非行の動行に推し進めようとする	防犯活動の推進	災害対策の充実	消費者生活の推進	交通安全活動の推進	消防や救急体制の整備	無回答
全体	1,511	1,045	733	349	322	320	98	6.5
20～24歳	61	36	24	17	18	11	7	11.5
25～29歳	67	34	27	22	23	16	4	6.0
30歳代	226	159	113	49	50	44	11	4.9
40歳代	190	134	105	39	45	40	5	2.6
50歳代	320	223	142	82	79	74	16	5.0
60歳代	349	252	186	83	60	74	16	4.6
70歳代	204	148	101	38	31	42	21	10.3
80歳以上	74	48	27	16	9	16	14	18.9

(注) 上段:実数, 下段: %。

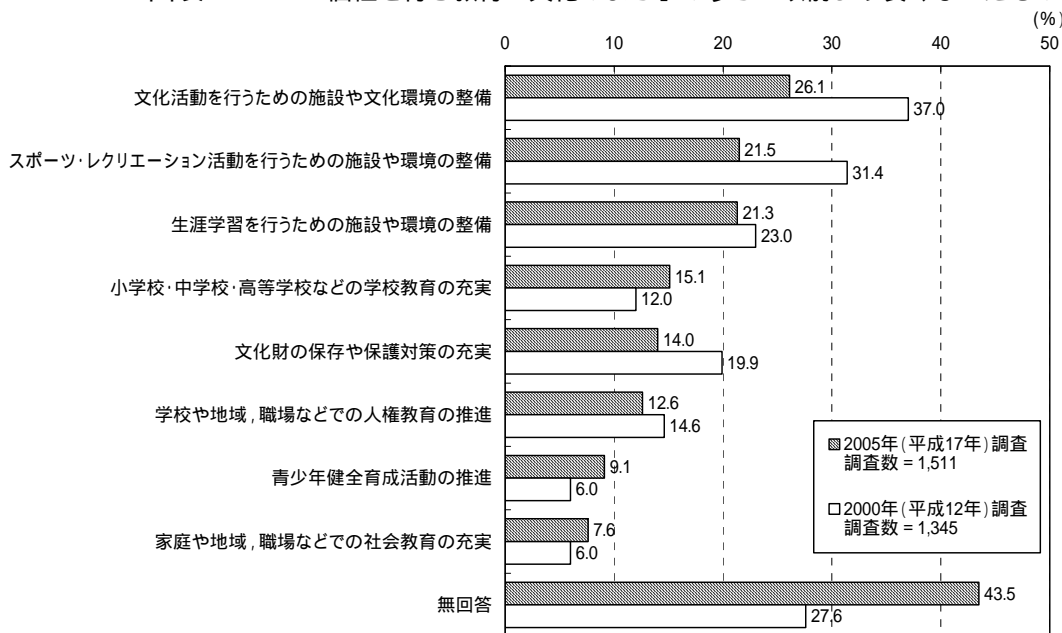
個性を育む教育・文化のまち

【以前より良くなったもの】

無回答の割合が高く、一般的に回答割合はあまり高くないが、「文化活動を行うための施設や文化環境の整備」や「スポーツ・レクリエーション活動を行うための施設や環境の整備」、「生涯学習を行うための施設や環境の整備」が比較的高い。ただし、このうち、「文化活動を行うための施設や文化環境の整備」と「スポーツ・レクリエーション活動を行うための施設や環境の整備」は、2000年（平成12年）調査よりもかなり下回っている。

年齢別に見ると、「生涯学習を行うための施設や環境の整備」では、年齢が高くなるにつれて割合が上昇する傾向がある。

図表 3 3 「個性を育む教育・文化のまち」のうち「以前より良くなったもの」



図表 3 4 年齢別に見た「以前より良くなったもの」

	調査数	文化活動を行うための施設や文化環境の整備	スポーツ・レクリエーション活動を行うための施設や環境の整備	生涯学習を行うための施設や環境の整備	小学校・中学校・高等学校などの学校教育の充実	文化財の保存や保護対策の充実	学校や地域、職場などでの人権教育の推進	青少年健全育成活動の推進	家庭や地域、職場などでの社会教育の充実	無回答
全体	1,511	394	325	322	228	211	191	138	115	657
	100.0	26.1	21.5	21.3	15.1	14.0	12.6	9.1	7.6	43.5
20～24歳	61	14	15	9	12	8	6	7	4	26
	100.0	23.0	24.6	14.8	19.7	13.1	9.8	11.5	6.6	42.6
25～29歳	67	9	7	12	7	1	5	3	3	36
	100.0	13.4	10.4	17.9	10.4	1.5	7.5	4.5	4.5	53.7
30歳代	226	57	49	33	24	33	21	17	10	108
	100.0	25.2	21.7	14.6	10.6	14.6	9.3	7.5	4.4	47.8
40歳代	190	47	37	36	20	18	20	8	5	84
	100.0	24.7	19.5	18.9	10.5	9.5	10.5	4.2	2.6	44.2
50歳代	320	89	68	70	38	41	40	27	22	143
	100.0	27.8	21.3	21.9	11.9	12.8	12.5	8.4	6.9	44.7
60歳代	349	111	81	81	62	68	44	37	36	122
	100.0	31.8	23.2	23.2	17.8	19.5	12.6	10.6	10.3	35.0
70歳代	204	53	50	56	46	29	41	29	26	86
	100.0	26.0	24.5	27.5	22.5	14.2	20.1	14.2	12.7	42.2
80歳以上	74	13	16	24	16	11	11	6	6	38
	100.0	17.6	21.6	32.4	21.6	14.9	14.9	8.1	8.1	51.4

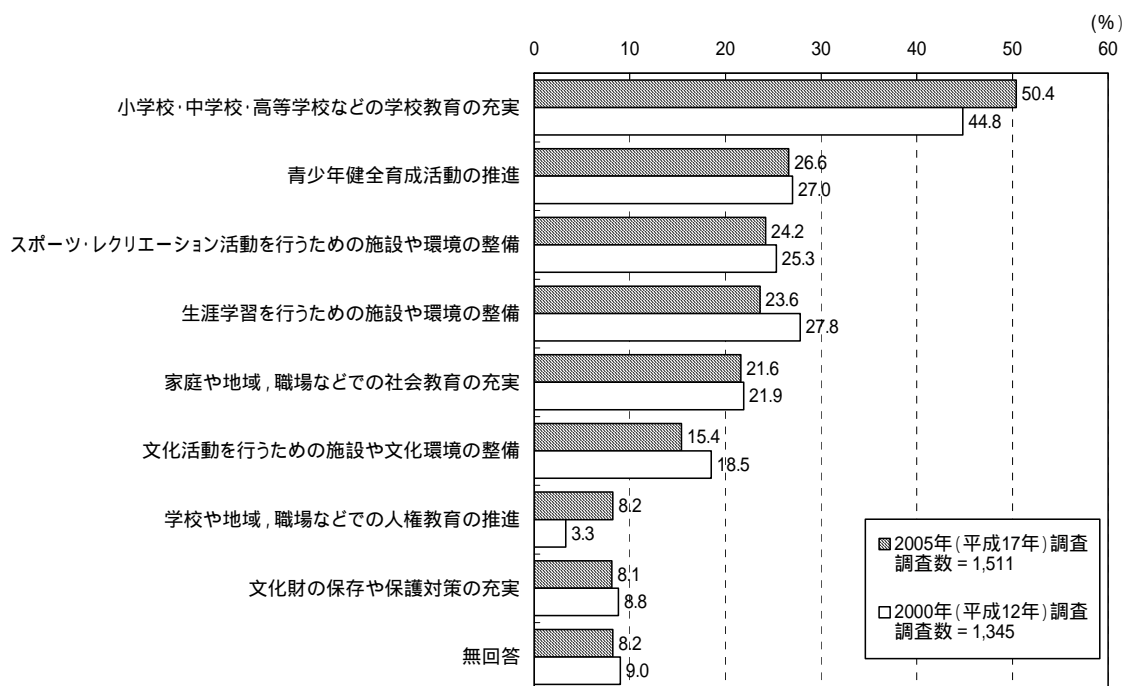
(注) 上段:実数, 下段:%。

【今後特に重要なもの】

今後特に重要なものとしては、「小学校・中学校・高等学校などの学校教育の充実」が極めて高く、2000年（平成12年）調査よりも更に上回っている。

これらの学校教育の充実は、特に30～40歳代で割合が高く、その他、25～29歳における「スポーツ・レクリエーション活動を行うための施設や環境の整備」も高い。

図表 3 5 「個性を育む教育・文化のまち」のうち「今後特に重要なもの」



図表 3 6 年齢別に見た「今後特に重要なもの」

	調査数	小学校・中学校・高等学校の充実	青少年健全育成活動の推進	スポーツ・レクリエーション活動を行うための施設や環境の整備	生涯学習を行うための施設や環境の整備	家庭や地域、職場などでの社会教育の充実	文化活動を行うための施設や文化環境の整備	学校や地域、職場などでの人権教育の推進	文化財の保存や保護対策の充実	無回答
全体	1,511	761	402	366	356	326	232	124	123	124
	100.0	50.4	26.6	24.2	23.6	21.6	15.4	8.2	8.1	8.2
20～24歳	61	22	6	19	13	16	12	9	5	7
	100.0	36.1	9.8	31.1	21.3	26.2	19.7	14.8	8.2	11.5
25～29歳	67	32	10	23	16	13	5	8	6	6
	100.0	47.8	14.9	34.3	23.9	19.4	7.5	11.9	9.0	9.0
30歳代	226	143	40	69	45	48	26	13	18	16
	100.0	63.3	17.7	30.5	19.9	21.2	11.5	5.8	8.0	7.1
40歳代	190	116	44	52	39	33	36	19	14	7
	100.0	61.1	23.2	27.4	20.5	17.4	18.9	10.0	7.4	3.7
50歳代	320	149	91	70	98	74	55	27	22	21
	100.0	46.6	28.4	21.9	30.6	23.1	17.2	8.4	6.9	6.6
60歳代	349	166	110	84	91	73	59	25	25	24
	100.0	47.6	31.5	24.1	26.1	20.9	16.9	7.2	7.2	6.9
70歳代	204	94	72	32	44	49	27	19	20	23
	100.0	46.1	35.3	15.7	21.6	24.0	13.2	9.3	9.8	11.3
80歳以上	74	34	23	12	7	14	11	2	10	16
	100.0	45.9	31.1	16.2	9.5	18.9	14.9	2.7	13.5	21.6

(注) 上段:実数, 下段: %。

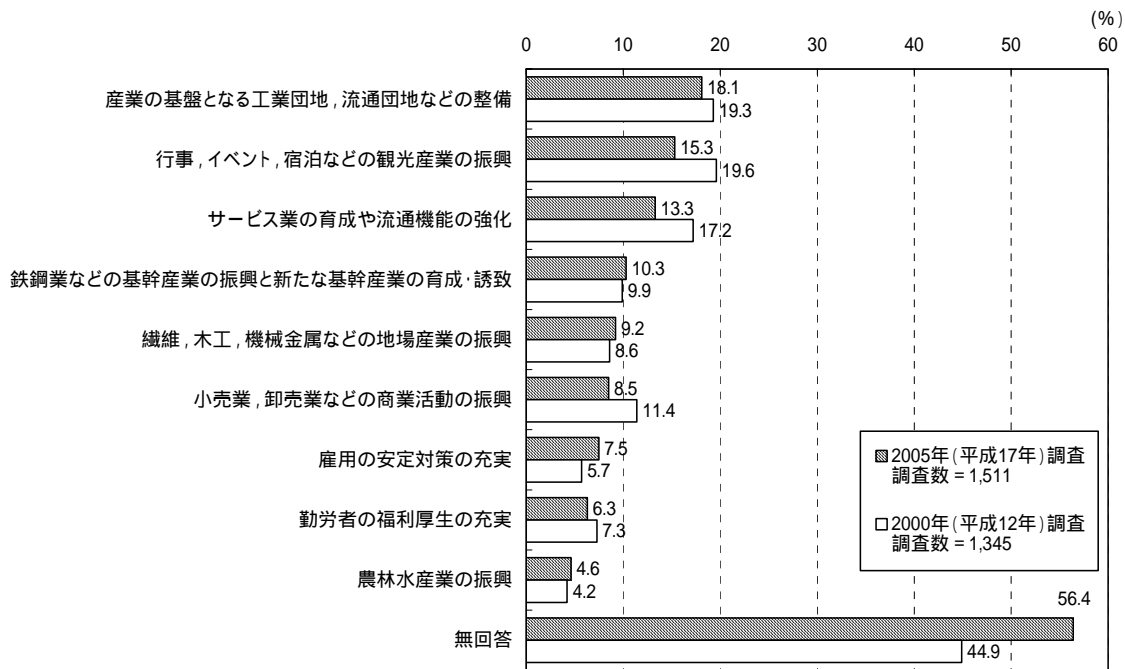
地域の資質を活かした産業のあるまち

【以前より良くなったもの】

「地域の資質を活かした産業のあるまち」では、特に無回答の割合が高くなっている。無回答以外では、「産業の基盤となる工業団地，流通団地などの整備」や「行事，イベント，宿泊などの観光産業の振興」などが高い。

なお，年齢別では，顕著な相違は見られない。

図表 37 「地域の資質を活かした産業のあるまち」のうち「以前より良くなったもの」



図表 38 年齢別に見た「以前より良くなったもの」

	調査数	地工業業の振興	業宿泊事の振興	やサー流通の振興	成産鉄業金の振興	織の属維の振興	興の小の商業活動の振興	充雇用の安定対策の充実	の勤労者の福利厚生	農林水産業の振興	無回答
全体	1,511	273	231	201	155	139	129	114	95	70	852
	100.0	18.1	15.3	13.3	10.3	9.2	8.5	7.5	6.3	4.6	56.4
20～24歳	61	7	12	6	6	2	4	4	5	4	38
	100.0	11.5	19.7	9.8	9.8	3.3	6.6	6.6	8.2	6.6	62.3
25～29歳	67	5	7	15	3	3	1	4	2	2	39
	100.0	7.5	10.4	22.4	4.5	4.5	1.5	6.0	3.0	3.0	58.2
30歳代	226	35	39	26	18	15	22	14	9	2	133
	100.0	15.5	17.3	11.5	8.0	6.6	9.7	6.2	4.0	0.9	58.8
40歳代	190	25	30	18	15	8	7	8	9	7	114
	100.0	13.2	15.8	9.5	7.9	4.2	3.7	4.2	4.7	3.7	60.0
50歳代	320	55	51	44	27	28	36	20	14	9	183
	100.0	17.2	15.9	13.8	8.4	8.8	11.3	6.3	4.4	2.8	57.2
60歳代	349	95	45	51	43	41	23	31	23	19	174
	100.0	27.2	12.9	14.6	12.3	11.7	6.6	8.9	6.6	5.4	49.9
70歳代	204	39	33	31	30	29	23	23	23	16	113
	100.0	19.1	16.2	15.2	14.7	14.2	11.3	11.3	11.3	7.8	55.4
80歳以上	74	12	10	10	10	11	12	7	8	8	44
	100.0	16.2	13.5	13.5	13.5	14.9	16.2	9.5	10.8	10.8	59.5

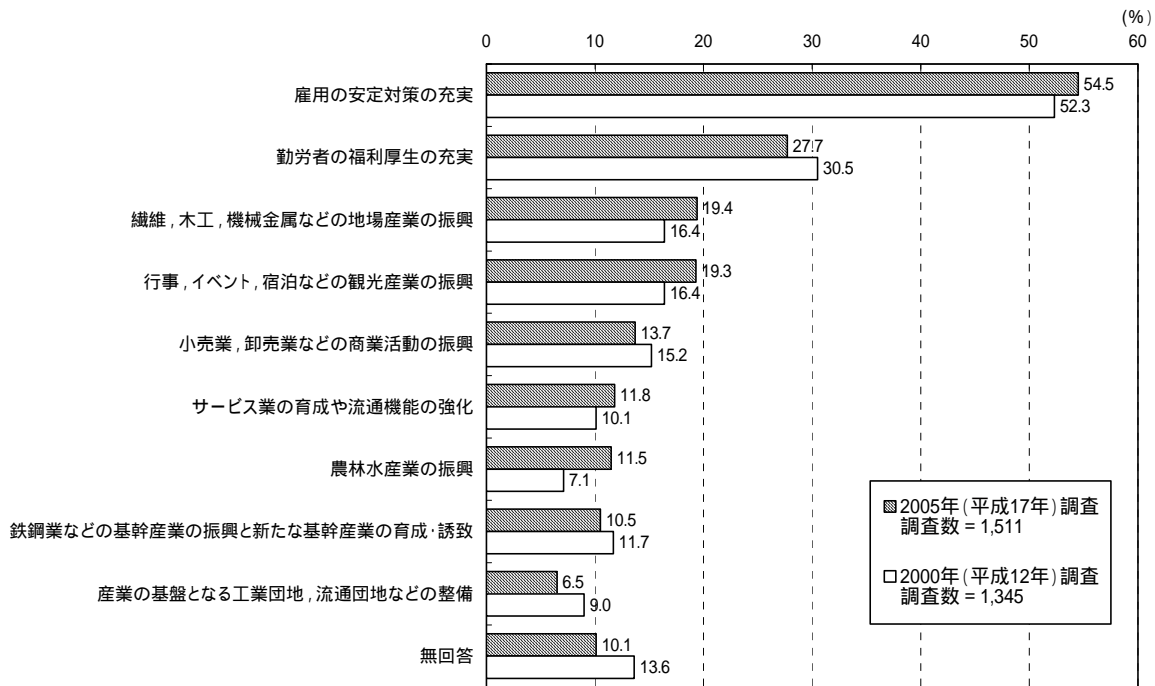
(注) 上段:実数, 下段:%。

【今後特に重要なもの】

今後特に重要なものとしては、「雇用の安定対策の充実」が半数を超えて最も高く、「勤労者の福利厚生」の充実」などが続いている。

年齢別に見ると、25～29歳の「行事、イベント、宿泊などの観光産業の振興」、30歳代の「勤労者の福利厚生」の割合が他の年代と比べて高い。

図表 39 「地域の資質を活かした産業のあるまち」のうち「今後特に重要なもの」



図表 40 年齢別に見た「今後特に重要なもの」

	調査数	雇用の安定対策の充実	勤労者の福利厚生	繊維、木工、機械金属などの地場産業の振興	観光産業の振興	小売業、卸売業などの商業活動の振興	サービス業の育成や流通機能の強化	農林水産業の振興	鉄鋼業などの基幹産業の振興と新たな基幹産業の育成・誘致	地場産業の振興	無回答
全体	1,511	824	418	293	292	207	179	174	158	98	152
	100.0	54.5	27.7	19.4	19.3	13.7	11.8	11.5	10.5	6.5	10.1
20～24歳	61	32	19	4	16	10	12	3	3	4	9
	100.0	52.5	31.1	6.6	26.2	16.4	19.7	4.9	4.9	6.6	14.8
25～29歳	67	39	21	8	25	8	9	4	3	3	7
	100.0	58.2	31.3	11.9	37.3	11.9	13.4	6.0	4.5	4.5	10.4
30歳代	226	139	92	33	49	21	27	11	22	12	14
	100.0	61.5	40.7	14.6	21.7	9.3	11.9	4.9	9.7	5.3	6.2
40歳代	190	113	63	37	28	28	26	23	18	11	10
	100.0	59.5	33.2	19.5	14.7	14.7	13.7	12.1	9.5	5.8	5.3
50歳代	320	183	87	60	63	44	35	35	36	21	28
	100.0	57.2	27.2	18.8	19.7	13.8	10.9	10.9	11.3	6.6	8.8
60歳代	349	195	75	94	57	41	35	56	49	26	29
	100.0	55.9	21.5	26.9	16.3	11.7	10.0	16.0	14.0	7.4	8.3
70歳代	204	84	43	42	44	38	28	25	19	17	32
	100.0	41.2	21.1	20.6	21.6	18.6	13.7	12.3	9.3	8.3	15.7
80歳以上	74	28	12	14	8	14	4	15	5	4	19
	100.0	37.8	16.2	18.9	10.8	18.9	5.4	20.3	6.8	5.4	25.7

(注) 上段:実数, 下段: %。

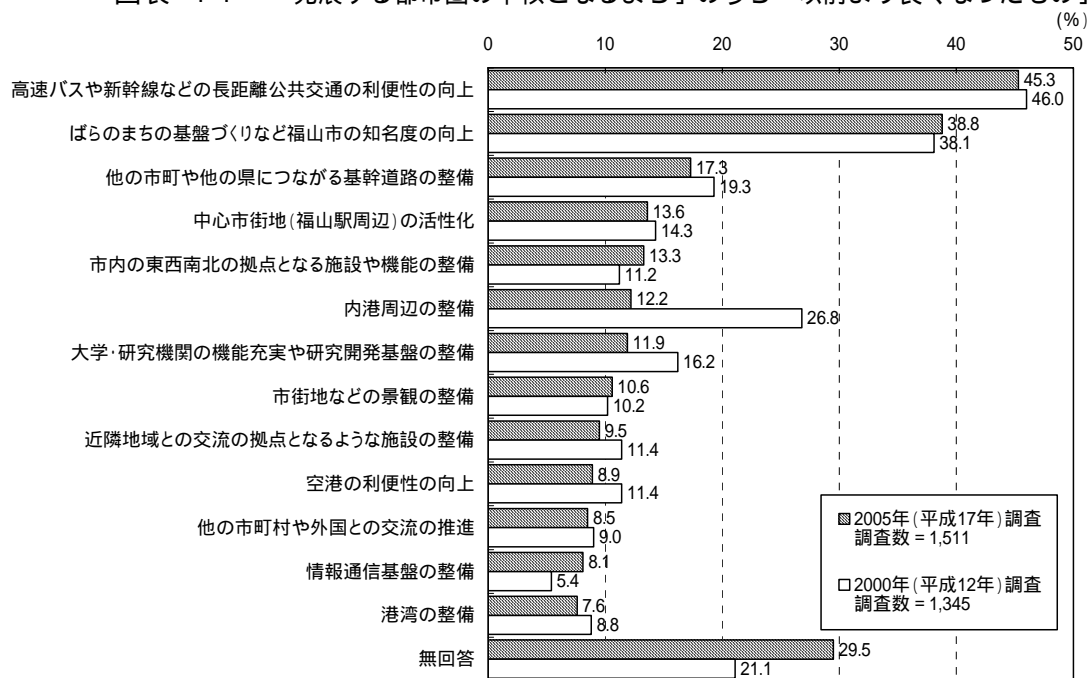
発展する都市圏の中核となるまち

【以前より良くなったもの】

「高速バスや新幹線などの長距離公共交通の利便性の向上」が半数弱で最も高く、次いで「ばらのまちの基盤づくりなど福山市の知名度の向上」となっている。また、2000年(平成12年)調査で3番目に割合の高かった「内港周辺の整備」は、割合が低下し6番目となっている。

年齢別に見た場合、20～24歳や80歳以上の「中心市街地(福山駅周辺)の活性化」の割合が特に高い。

図表 4-1 「発展する都市圏の中核となるまち」のうち「以前より良くなったもの」



図表 4-2 年齢別に見た「以前より良くなったもの」

	調査数	上距離高速公共交通や新幹線の利便性の向上	どばらのまちの知名度の向上	他の市町や他の県につながる基幹道路の整備	中心市街地(福山駅周辺)の活性化	市内の東西南北の拠点となる施設や機能の整備	内港周辺の整備	や大学・研究機関の機能充実	市街地などの景観の整備	近隣地域との交流の拠点となる施設の整備	空港の利便性の向上	他の市町村や外国との交流の推進	情報通信基盤の整備	港湾の整備	無回答
全体	1,511	684	586	261	206	201	185	180	160	144	134	128	122	115	446
	100.0	45.3	38.8	17.3	13.6	13.3	12.2	11.9	10.6	9.5	8.9	8.5	8.1	7.6	29.5
20～24歳	61	27	17	6	15	8	4	5	8	6	3	6	5	3	21
	100.0	44.3	27.9	9.8	24.6	13.1	6.6	8.2	13.1	9.8	4.9	9.8	8.2	4.9	34.4
25～29歳	67	29	14	11	11	4	3	7	5	3	4	3	0	2	22
	100.0	43.3	20.9	16.4	16.4	6.0	4.5	10.4	7.5	4.5	6.0	4.5	0.0	3.0	32.8
30歳代	226	102	84	33	21	24	26	21	22	15	17	18	24	11	58
	100.0	45.1	37.2	14.6	9.3	10.6	11.5	9.3	9.7	6.6	7.5	8.0	10.6	4.9	25.7
40歳代	190	89	55	25	20	21	19	16	14	8	11	10	6	10	57
	100.0	46.8	28.9	13.2	10.5	11.1	10.0	8.4	7.4	4.2	5.8	5.3	3.2	5.3	30.0
50歳代	320	153	117	46	30	45	39	37	29	33	30	27	16	27	95
	100.0	47.8	36.6	14.4	9.4	14.1	12.2	11.6	9.1	10.3	9.4	8.4	5.0	8.4	29.7
60歳代	349	164	163	72	46	50	57	47	34	37	36	28	34	31	93
	100.0	47.0	46.7	20.6	13.2	14.3	16.3	13.5	9.7	10.6	10.3	8.0	9.7	8.9	26.6
70歳代	204	85	97	53	38	37	29	34	34	29	21	24	28	21	63
	100.0	41.7	47.5	26.0	18.6	18.1	14.2	16.7	16.7	14.2	10.3	11.8	13.7	10.3	30.9
80歳以上	74	31	35	12	22	10	7	11	12	12	9	12	9	8	26
	100.0	41.9	47.3	16.2	29.7	13.5	9.5	14.9	16.2	16.2	12.2	16.2	12.2	10.8	35.1

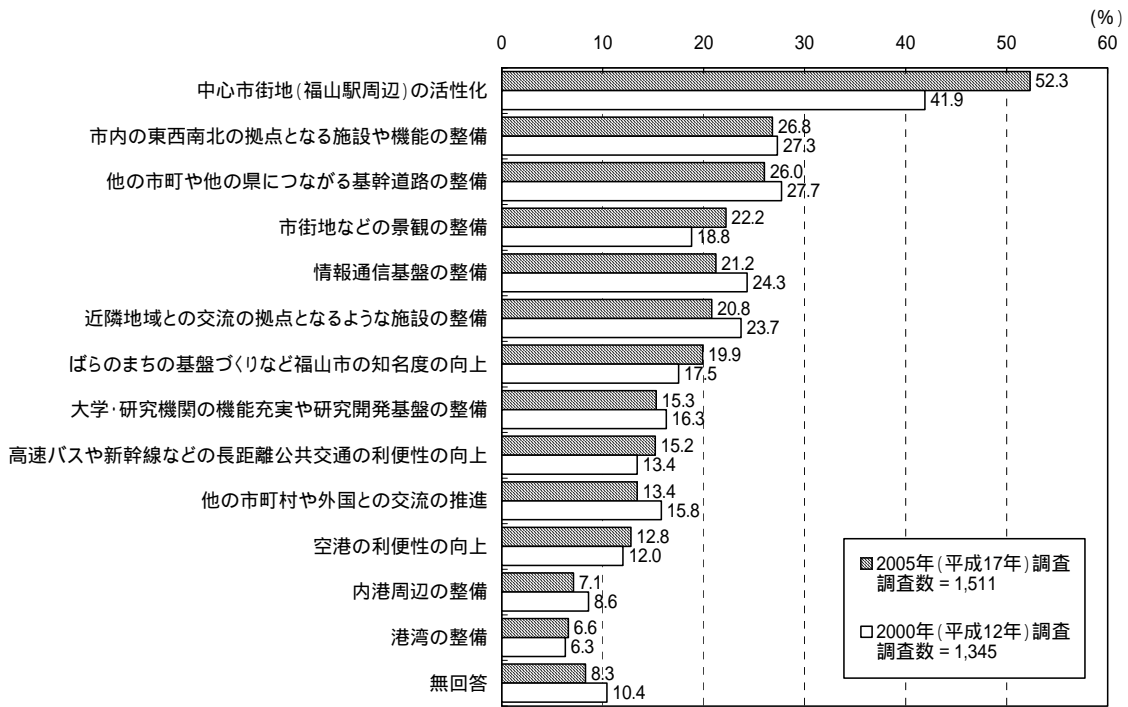
(注) 上段:実数, 下段: %。

【今後特に重要なもの】

今後特に重要なものとしては、「中心市街地（福山駅周辺）の活性化」が半数を超えて最も高く、2000年（平成12年）調査を大きく上回っている。

「中心市街地（福山駅周辺）の活性化」は、年齢が下がるにつれて割合が上昇する傾向があり、中でも25～29歳において高くなっている。

図表 4 3 「発展する都市圏の中核となるまち」のうち「今後特に重要なもの」



図表 4 4 年齢別に見た「今後特に重要なもの」

調査数	中心市街地(福山駅周辺)の活性化	市内の東西南北の拠点となる施設や機能の整備	他の市町や他の県につながる基幹道路の整備	市街地などの景観の整備	情報通信基盤の整備	近隣地域との交流の拠点となる施設の整備	どばら福山市の知名度の向上	大学・研究機関の機能充実	高速バスや新幹線などの長距離公共交通の利便性の向上	他の市町村や外国との交流の推進	空港の利便性の向上	内港周辺の整備	港湾の整備	無回答	
全体	1,511 100.0	791 52.3	405 26.8	393 26.0	335 22.2	315 21.2	301 20.8	231 15.3	230 15.2	202 13.4	193 12.8	107 7.1	100 6.6	126 8.3	
20～24歳	61 100.0	25 41.0	11 18.0	11 18.0	18 29.5	15 24.6	9 14.8	13 21.3	8 16.4	10 16.4	8 13.1	10 16.4	3 4.9	6 9.8	8 13.1
25～29歳	67 100.0	44 65.7	17 25.4	14 20.9	17 25.4	9 13.4	8 11.9	17 25.4	7 10.4	15 22.4	10 14.9	9 13.4	2 3.0	4 6.0	4 6.0
30歳代	226 100.0	131 58.0	59 26.1	54 23.9	48 21.2	40 17.7	46 20.4	32 14.2	30 13.3	41 18.1	29 12.8	30 13.3	24 10.6	15 6.6	14 6.2
40歳代	190 100.0	102 53.7	61 32.1	61 32.1	43 22.6	46 24.2	40 21.1	34 17.9	34 17.9	22 11.6	29 15.3	21 11.1	5 2.6	9 4.7	11 5.8
50歳代	320 100.0	172 53.8	79 24.7	87 27.2	75 23.4	81 25.3	53 16.6	68 21.3	49 15.3	54 16.9	40 12.5	46 14.4	21 6.6	16 5.0	23 7.2
60歳代	349 100.0	184 52.7	99 28.4	101 28.9	77 22.1	82 23.5	88 25.2	71 20.3	53 15.2	53 15.2	41 11.7	45 12.9	23 6.6	24 6.9	20 5.7
70歳代	204 100.0	100 49.0	56 27.5	52 25.5	39 19.1	39 19.1	47 23.0	46 22.5	34 16.7	23 11.3	32 15.7	21 10.3	20 9.8	18 8.8	24 11.8
80歳以上	74 100.0	25 33.8	21 28.4	10 13.5	12 16.2	7 9.5	21 28.4	16 21.6	12 16.2	9 12.2	7 9.5	8 10.8	7 9.5	7 9.5	18 24.3

(注) 上段:実数, 下段:%。

「行政サービスなどに対する満足度・重要度」のまとめ

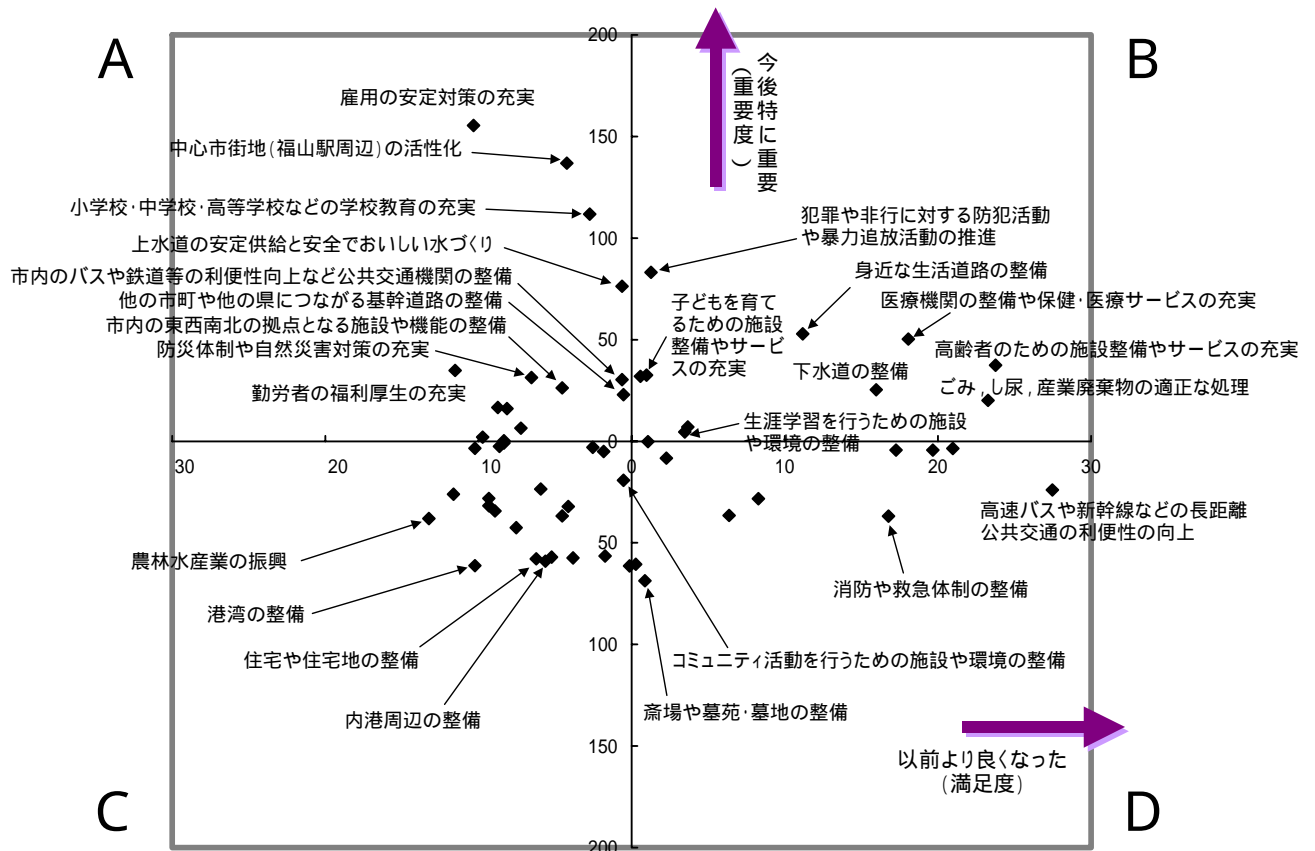
(市民満足度と重要度から見た位置付け)

各行政サービスなどについて、「以前より良くなったもの」(満足度)を横軸に、「今後特に重要なもの」(重要度)を縦軸にとり、項目別の回答率をプロットした。

ここで、満足度と重要度の状況を、「A：満足度が低く重要度が高い」「B：満足度も重要度も高い」「C：満足度も重要度も低い」「D：満足度が高く重要度は低い」の位置付けより整理した結果が図表 45 である。

なお、満足度、重要度、位置付けの算出方法については、次ページの「満足度、重要度等の計算表」のとおりである。

図表 45 市民満足度と重要度から見た位置付け



(注) 満足度や重要度の高低から見て、特に大きい又は小さい行政サービスなどについて名称を表示。

■満足度、重要度等の計算表

	良くなったもの a	特に重要なもの b	特に重要なもの b'	満足度 a-AVE	重要度 b'-AVE	位置づけ
I. 心ふれあい健やかに安心して暮らせるまち						
1. さまざまな人権問題や平和のための活動・環境整備	17.7	9.5	28.5	▲ 0.1	▲ 61.3	C
2. 高齢者のための施設整備やサービスの充実	41.6	42.4	127.2	23.8	▲ 37.4	B
3. 障害者のための施設整備やサービスの充実	16.1	11.1	33.3	▲ 1.7	▲ 56.5	C
4. 子どもを育てるための施設整備やサービスの充実	18.8	40.8	122.4	1.0	32.6	B
5. 生活保護や年金などの社会保障の充実	9.7	35.3	105.9	▲ 8.1	16.1	A
6. 医療機関の整備や保健・医療サービスの充実	35.9	46.7	140.1	18.1	50.3	B
II. 自然とともに生きるまち						
1. 環境保全のための活動や環境整備	16.0	24.2	84.7	▲ 1.8	▲ 5.1	C
2. ごみ、し尿、産業廃棄物の適正な処理	41.1	31.4	109.9	23.3	20.1	B
3. リサイクルやエネルギーの効率利用の促進	35.1	24.4	85.4	17.3	▲ 4.4	D
4. 大気汚染、騒音などの公害防止対策の推進	9.5	25.4	88.9	▲ 8.3	▲ 0.9	C
5. 河川や水路、ため池などの水質浄化	18.4	34.8	121.8	0.6	32.0	B
6. 森林や農地などの緑の環境の保全	6.2	18.2	63.7	▲ 11.6	▲ 26.1	C
7. 市民が水や緑に親しめる環境の整備	18.9	25.6	89.6	1.1	▲ 0.2	D
III. コミュニティの形成・快適な生活環境の整備						
1. 市の広報などによる市民への情報提供の充実	37.5	19.0	85.5	19.7	▲ 4.3	D
2. コミュニティ活動を行うための施設や環境の整備	17.3	15.7	70.7	▲ 0.5	▲ 19.2	C
3. 上下水道の安定供給と安全でおいしい水づくり	17.2	36.9	166.1	▲ 0.6	76.2	A
4. 下水道の整備	33.8	25.6	115.2	16.0	25.4	B
5. 公園や緑地の整備	20.1	18.1	81.5	2.3	▲ 8.4	D
6. 身近な生活道路の整備	29.0	31.7	142.7	11.2	52.8	B
7. 市内のバスや鉄道等の利便性向上など公共交通機関の整備	17.2	26.7	120.2	▲ 0.6	30.3	A
8. 住宅や住宅地の整備	11.6	7.1	32.0	▲ 6.2	▲ 57.9	C
9. 畜場や墓苑・墓地の整備	18.7	4.7	21.2	0.9	▲ 68.7	D
IV. 安全な生活環境の確保						
1. 防災体制や自然災害対策の充実	11.3	48.5	121.3	▲ 6.5	31.4	A
2. 消防や救急体制の整備	34.6	21.2	53.0	16.8	▲ 36.8	D
3. 交通安全活動の充実や駐車場・駐輪場の整備	24.2	21.3	53.3	6.4	▲ 36.6	D
4. 消費生活にかかわる情報提供など消費者保護の推進	13.7	23.1	57.8	▲ 4.1	▲ 32.1	C
5. 犯罪や非行に対する防犯活動や暴力追放活動の推進	19.1	69.2	173.0	1.3	83.2	B
V. 個性を育む教育・文化のまち						
1. 生涯学習を行うための施設や環境の整備	21.3	23.6	94.4	3.5	4.6	B
2. 小学校・中学校・高等学校などの学校教育の充実	15.1	50.4	201.6	▲ 2.7	111.8	A
3. 家庭や地域、職場などでの社会教育の充実	7.6	21.6	86.4	▲ 10.2	▲ 3.4	C
4. 学校や地域、職場などでの人権教育の推進	12.6	8.2	32.8	▲ 5.2	▲ 57.0	C
5. 青少年健全育成活動の推進	9.1	26.6	106.4	▲ 8.7	16.6	A
6. 文化活動を行うための施設や文化環境の整備	26.1	15.4	61.6	8.3	▲ 28.2	D
7. 文化財の保存や保護対策の充実	14.0	8.1	32.4	▲ 3.8	▲ 57.4	C
8. スポーツ・レクリエーション活動を行うための施設や環境の整備	21.5	24.2	96.8	3.7	7.0	B
VI. 地域の資質を活かした産業のあるまち						
1. サービス業の育成や流通機能の強化	13.3	11.8	53.1	▲ 4.5	▲ 36.7	C
2. 農林水産業の振興	4.6	11.5	51.8	▲ 13.2	▲ 38.1	C
3. 繊維、木工、機械金属などの地場産業の振興	9.2	19.4	87.3	▲ 8.6	▲ 2.5	C
4. 鉄鋼業などの基幹産業の振興と新たな基幹産業の育成・誘致	10.3	10.5	47.3	▲ 7.5	▲ 42.6	C
5. 産業の基盤となる工業団地、流通団地などの整備	18.1	6.5	29.3	0.3	▲ 60.6	D
6. 小売業、卸売業などの商業活動の振興	8.5	13.7	61.7	▲ 9.3	▲ 28.2	C
7. 行事、イベント、宿泊などの観光産業の振興	15.3	19.3	86.9	▲ 2.5	▲ 3.0	C
8. 雇用の安定対策の充実	7.5	54.5	245.3	▲ 10.3	155.4	A
9. 勤労者の福利厚生への充実	6.3	27.7	124.7	▲ 11.5	34.8	A
VII. 発展する都市圏の中核となるまち						
1. 他の市町村や外国との交流の推進	8.5	13.4	58.1	▲ 9.3	▲ 31.7	C
2. 大学・研究機関の機能充実や研究開発基盤の整備	11.9	15.3	66.3	▲ 5.9	▲ 23.5	C
3. 情報通信基盤の整備	8.1	21.2	91.9	▲ 9.7	2.1	A
4. ばらのまちの基盤づくりなど福山市の知名度の向上	38.8	19.9	86.2	21.0	▲ 3.6	D
5. 近隣地域との交流の拠点となるような施設の整備	9.5	20.8	90.1	▲ 8.3	0.3	A
6. 中心市街地（福山駅周辺）の活性化	13.6	52.3	226.6	▲ 4.2	136.8	A
7. 内港周辺の整備	12.2	7.1	30.8	▲ 5.6	▲ 59.0	C
8. 市内の東西南北の拠点となる施設や機能の整備	13.3	26.8	116.1	▲ 4.5	26.3	A
9. 市街地などの景観の整備	10.6	22.2	96.2	▲ 7.2	6.4	A
10. 他の市町や他の県につながる基幹道路の整備	17.3	26.0	112.7	▲ 0.5	22.9	A
11. 高速バスや新幹線などの長距離公共交通の利便性の向上	45.3	15.2	65.9	27.5	▲ 23.9	D
12. 港湾の整備	7.6	6.6	28.6	▲ 10.2	▲ 61.2	C
13. 空港の利便性の向上	8.9	12.8	55.5	▲ 8.9	▲ 34.3	C
全項目平均回答率 (AVE)	17.8	23.7	89.8			

表題のうち、

aは「以前（概ね5年前）より良くなったと思われるもの（複数回答）」の回答率

bは「今後のまちづくりで特に重要と思われるもの（2つ、3つ選択）」の回答率

b' = b × (選択肢数 ÷ 選択数) により標準化した値（設問により選択数が異なるため標準化）

a-AVE, b'-AVEは項目間の比較を行うため、項目別に全項目平均回答率からの偏差を算出

A: 満足度が低く重要度が高い

B: 満足度も重要度も高い

C: 満足度も重要度も低い

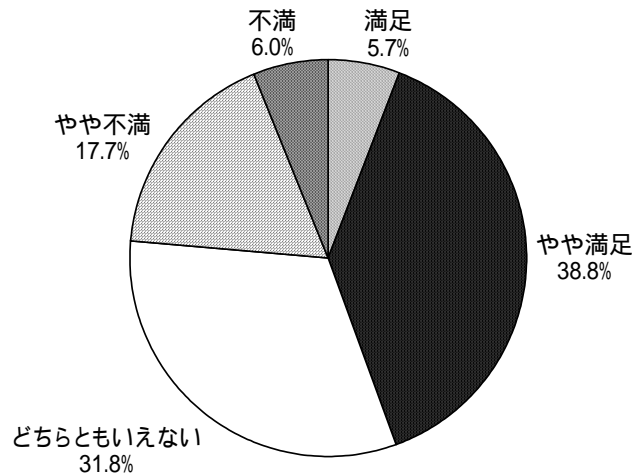
D: 満足度が高く重要度は低い

福山市への住みやすさに対する総合的な満足度(問7)[単数回答]

福山市への住みやすさに対する総合的な満足度としては、満足とやや満足の合計(44.5%)が、やや不満と不満の合計(23.7%)を大きく上回っている。また、「どちらともいえない」については、およそ3割となっている。

年齢別に見ると、年齢が上がるにつれておおむね満足とする回答割合が高まり、一方、年齢が下がるにつれて、不満の回答割合が高まる傾向がある。

図表 4 6 福山市への住みやすさに対する総合的な満足度



回答者数 = 1,362

図表 4 7 年齢別に見た「福山市への住みやすさに対する総合的な満足度」

	回答者数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
全体	1,362	78	528	433	241	82
	100.0	5.7	38.8	31.8	17.7	6.0
20～24歳	55	3	23	16	9	4
	100.0	5.5	41.8	29.1	16.4	7.3
25～29歳	63	4	19	22	15	3
	100.0	6.3	30.2	34.9	23.8	4.8
30歳代	213	5	87	68	42	11
	100.0	2.3	40.8	31.9	19.7	5.2
40歳代	181	5	53	66	39	18
	100.0	2.8	29.3	36.5	21.5	9.9
50歳代	291	9	111	90	62	19
	100.0	3.1	38.1	30.9	21.3	6.5
60歳代	318	24	125	101	49	19
	100.0	7.5	39.3	31.8	15.4	6.0
70歳代	170	16	85	45	20	4
	100.0	9.4	50.0	26.5	11.8	2.4
80歳以上	57	10	20	22	4	1
	100.0	17.5	35.1	38.6	7.0	1.8

(注) 上段:実数, 下段:%。

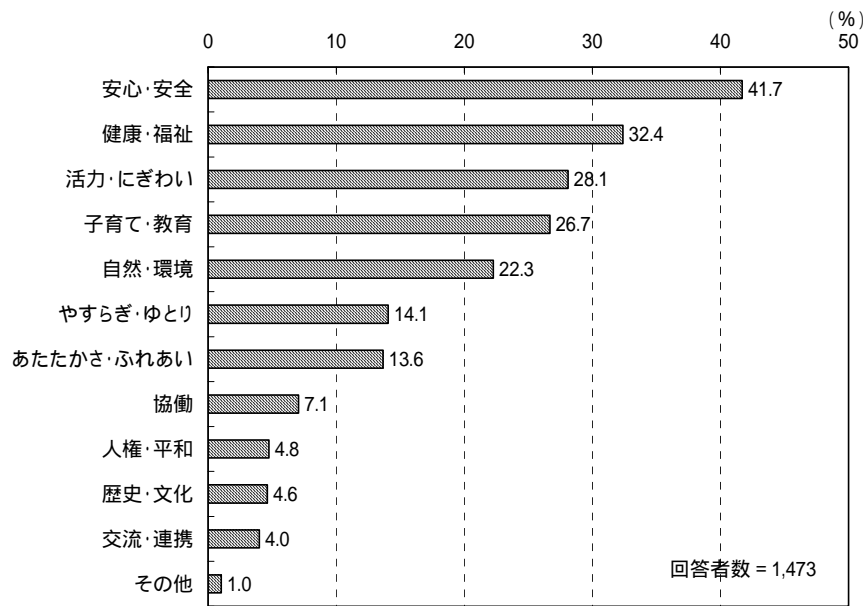
(4) 今後の重点的な取組(福山市の将来像, 重点的に行うべき取組)

今後のまちづくりを行う上での将来像や考え方(問8)[複数回答]

福山市が今後どのような将来像や考え方に基づいてまちづくりを進めるべきかについては、「安全・安心」が約4割で最も多く、次いで、「健康・福祉」(32.4%)、「活力・にぎわい」(28.1%)、「子育て・教育」(26.7%)、「自然・環境」(22.3%)などが多い。

年齢別に見た場合、20歳代の「活力・にぎわい」、25～30歳代の「子育て・教育」が特に高く、「健康・福祉」は年齢が上がるにつれて割合が高くなっている。

図表 48 今後のまちづくりを行う上での将来像や考え方



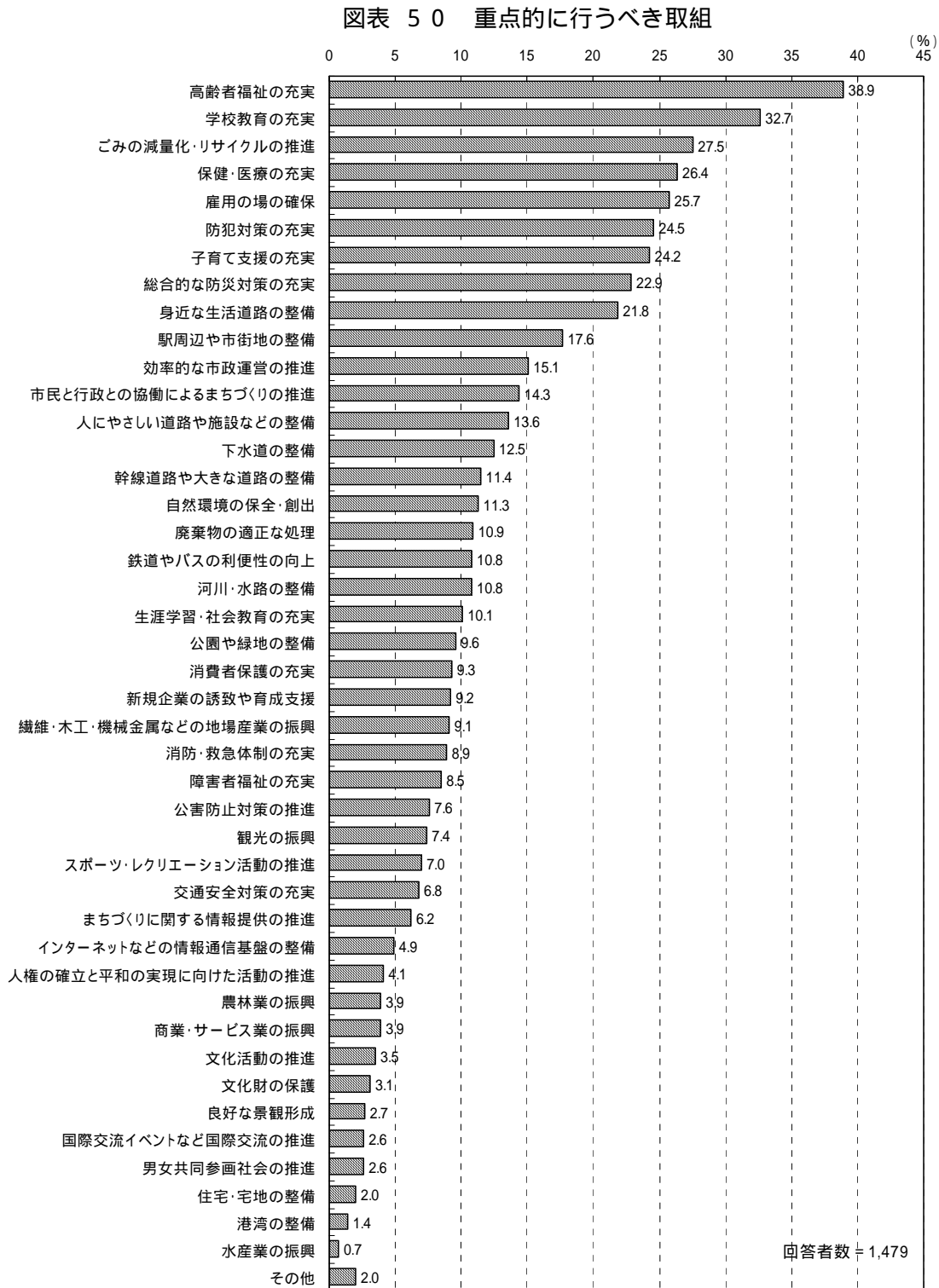
図表 49 年齢別に見た「今後のまちづくりを行う上での将来像や考え方」

	回答者数	安心・安全	健康・福祉	活力・にぎわい	子育て・教育	自然・環境	やすらぎ・ゆとり	あたたかさ・ふれあい	協働	人権・平和	歴史・文化	交流・連携	その他
全体	1,473	614	477	414	393	328	207	201	104	70	68	59	15
	100.0	41.7	32.4	28.1	26.7	22.3	14.1	13.6	7.1	4.8	4.6	4.0	1.0
20～24歳	61	25	14	25	15	14	8	8	0	4	2	4	2
	100.0	41.0	23.0	41.0	24.6	23.0	13.1	13.1	0.0	6.6	3.3	6.6	3.3
25～29歳	67	23	11	35	28	15	8	6	3	2	2	2	0
	100.0	34.3	16.4	52.2	41.8	22.4	11.9	9.0	4.5	3.0	3.0	3.0	0.0
30歳代	220	86	49	65	119	38	17	20	11	13	10	10	2
	100.0	39.1	22.3	29.5	54.1	17.3	7.7	9.1	5.0	5.9	4.5	4.5	0.9
40歳代	188	79	49	54	57	47	20	21	15	10	12	5	1
	100.0	42.0	26.1	28.7	30.3	25.0	10.6	11.2	8.0	5.3	6.4	2.7	0.5
50歳代	315	138	100	91	49	82	57	45	32	7	11	12	3
	100.0	43.8	31.7	28.9	15.6	26.0	18.1	14.3	10.2	2.2	3.5	3.8	1.0
60歳代	340	149	136	81	70	74	50	47	23	15	21	16	3
	100.0	43.8	40.0	23.8	20.6	21.8	14.7	13.8	6.8	4.4	6.2	4.7	0.9
70歳代	196	82	85	40	39	36	31	38	15	11	5	9	1
	100.0	41.8	43.4	20.4	19.9	18.4	15.8	19.4	7.7	5.6	2.6	4.6	0.5
80歳以上	68	29	26	18	14	15	13	13	3	6	5	1	2
	100.0	42.6	38.2	26.5	20.6	22.1	19.1	19.1	4.4	8.8	7.4	1.5	2.9

(注) 上段:実数, 下段: %。

重点的に行うべき取組(問9)[複数回答]

今後の福山市のまちづくりにおいて重点的に行うべき取組としては、「高齢者福祉の充実」が38.9%で最も多い。次いで、「学校教育」(32.7%)や「ごみの減量化・リサイクルの推進」(27.5%)、「保健・医療の充実」(26.4%)、「雇用の場の確保」(25.7%)などが多い。



年齢別に見れば、年齢が上がるにつれて「高齢者福祉の充実」が高くなっており、また、25～30歳代の「子育て支援の充実」や30歳代の「学校教育の充実」が他の年代と比べて高くなっている。

図表 5 1 年齢別に見た「重点的に行うべき取組」

	回答者数	高齢者福祉の充実	学校教育の充実	ごみ削減・リサイクルの推進	保健・医療の充実	雇用の場の確保	防犯対策の充実	子育て支援の充実	総合的な防災対策の充実	身近な生活道路の整備	駅周辺や市街地の整備	効率的な市政運営の推進	まちづくりの推進	市民と行政との協働によるまちづくりの推進	人々ややさしい道路や施設などの整備	下水道の整備	備幹線道路や大きな道路の整備	自然環境の保全・創出	廃棄物の適正な処理	鉄道やバスの利便性の向上	河川・水路の整備	生涯学習・社会教育の充実	公園や緑地の整備	消費者保護の充実
全体	1,479 100.0	576 38.9	483 32.7	407 27.5	390 26.4	380 25.7	363 24.5	358 24.2	338 22.9	323 21.8	261 17.6	223 15.1	212 14.3	201 13.6	185 12.5	169 11.4	167 11.3	161 10.9	159 10.8	159 10.8	149 10.1	142 9.6	137 9.6	
20～24歳	58 100.0	15 25.9	13 22.4	14 24.1	14 24.1	16 27.6	25 43.1	16 27.6	12 20.7	8 13.8	13 22.4	10 17.2	2 3.4	6 10.3	6 10.3	4 6.9	11 19.0	3 5.2	12 20.7	7 12.1	9 15.5	9 15.5	8 13.8	
25～29歳	67 100.0	16 23.9	24 35.8	23 34.3	19 28.4	15 22.4	21 31.3	28 41.8	13 19.4	17 25.4	15 22.4	6 9.0	7 10.4	3 4.5	5 7.5	11 16.4	7 10.4	2 3.0	9 13.4	4 6.0	3 4.5	8 11.9	2 3.0	
30歳代	225 100.0	42 18.7	96 42.7	64 28.4	76 33.8	56 24.9	68 30.2	99 44.0	49 21.8	50 22.2	36 16.0	23 10.7	24 10.2	29 12.9	16 7.1	16 10.7	17 7.6	20 8.9	29 12.9	18 8.0	13 5.8	33 14.7	16 7.1	
40歳代	188 100.0	62 33.0	72 38.3	40 21.3	51 27.1	60 31.9	45 23.9	36 19.1	45 23.9	32 17.0	37 19.7	27 14.4	22 11.7	27 14.4	21 11.2	24 12.8	30 16.0	22 11.7	24 12.8	18 9.6	15 8.0	17 9.0	21 11.2	
50歳代	314 100.0	132 42.0	102 32.5	92 29.3	73 23.2	86 27.4	70 22.3	57 18.2	87 27.7	65 20.7	48 15.3	60 19.1	55 17.5	40 12.7	38 12.1	39 12.4	46 14.6	40 12.7	22 7.0	31 9.9	40 12.7	31 9.9	24 7.6	
60歳代	344 100.0	158 45.9	94 27.3	92 26.7	86 25.0	85 24.7	81 23.5	72 20.9	80 23.3	76 22.1	66 19.2	60 17.4	54 15.7	46 13.4	56 16.3	39 11.3	27 7.8	40 11.6	26 7.6	39 11.3	42 12.2	27 7.8	40 11.6	
70歳代	196 100.0	105 53.6	57 29.1	58 29.6	50 25.5	35 17.9	29 14.8	29 14.8	37 18.9	49 25.0	35 17.9	22 11.2	35 17.9	33 16.8	30 15.3	17 8.7	22 11.2	25 12.8	24 12.2	30 15.3	17 8.7	17 8.7	19 9.7	
80歳以上	69 100.0	39 56.5	19 27.5	22 31.9	16 23.2	20 29.0	14 20.3	15 21.7	11 15.9	22 31.9	11 15.9	14 20.3	12 17.4	15 21.7	9 13.0	9 13.0	4 5.8	9 13.0	9 13.0	7 10.1	3 4.3	7 10.1	7 10.1	

	回答者数	新規企業の誘致や育成支援	繊維・木工・機械金属などの地場産業の振興	消防・救急体制の充実	障害者福祉の充実	公害防止対策の推進	観光の振興	スポーツ・レクリエーション活動の推進	交通安全対策の充実	まちづくりに関する情報提供の推進	インターネットなどの情報通信基盤の整備	人権の確立と平和の実現に向けた活動の推進	農林業の振興	商業・サービスの振興	文化活動の推進	文化財の保護	良好な景観形成	国際交流イベントなど国際交流の推進	男女共同参画社会の推進	住宅・宅地の整備	港湾の整備	水産業の振興	その他
全体	1,479 100.0	136 9.2	134 9.1	132 8.9	126 8.5	112 7.6	109 7.4	103 7.0	101 6.8	91 6.2	72 4.9	61 4.1	57 3.9	57 3.9	52 3.5	46 3.1	40 2.7	38 2.6	38 2.6	30 2.0	20 1.4	10 0.7	29 2.0
20～24歳	58 100.0	4 6.9	3 5.2	5 8.6	9 15.5	4 6.9	5 8.6	12 20.7	7 12.1	4 6.9	6 10.3	5 8.6	1 1.7	1 1.7	0 0.0	1 1.7	4 6.9	2 3.4	3 5.2	0 0.0	1 1.7	1 1.7	2 3.4
25～29歳	67 100.0	4 6.0	8 11.9	7 10.4	5 7.5	4 6.0	5 7.5	6 9.0	5 7.5	3 4.5	4 6.0	2 3.0	0 0.0	4 6.0	1 1.5	2 3.0	2 3.0	1 1.5	4 6.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5
30歳代	225 100.0	16 7.1	10 4.4	14 6.2	24 10.7	13 5.8	21 9.3	11 4.9	12 5.3	12 5.3	21 9.3	10 4.4	5 2.2	10 4.4	2 0.9	2 0.9	6 2.7	8 3.6	2 0.9	4 1.8	3 1.3	1 0.4	7 3.1
40歳代	188 100.0	13 6.9	11 5.9	12 6.4	22 11.7	13 6.9	11 5.9	21 10.6	5 2.7	6 3.2	16 8.5	10 5.3	10 5.3	11 5.9	9 4.8	4 2.1	4 2.1	6 3.2	5 2.7	4 2.1	2 1.1	3 1.6	4 2.1
50歳代	314 100.0	39 12.4	26 8.3	21 6.7	27 8.6	20 6.4	25 8.0	14 4.5	26 8.3	27 8.6	10 3.2	11 3.5	11 3.5	13 4.1	16 5.1	9 2.9	5 1.6	12 3.8	11 3.5	9 2.9	3 1.0	2 0.6	4 1.3
60歳代	344 100.0	29 8.4	43 12.5	37 10.8	25 7.3	36 10.5	22 6.4	24 7.0	26 7.6	23 6.7	7 2.0	10 2.9	16 4.7	8 2.3	13 3.8	17 4.9	5 3.5	5 1.5	6 1.7	9 2.6	5 1.5	2 0.6	6 1.7
70歳代	196 100.0	24 12.2	23 11.7	23 11.7	9 4.6	17 8.7	17 8.7	11 5.6	13 6.6	18 9.2	6 3.1	6 3.1	9 4.6	5 2.6	9 4.6	7 3.6	4 2.0	3 1.5	3 1.5	1 0.5	4 2.0	0 0.0	3 1.5
80歳以上	69 100.0	7 10.1	9 13.0	11 15.9	4 5.8	5 7.2	3 4.3	4 5.8	7 10.1	3 4.3	1 1.4	5 7.2	4 5.8	3 4.3	2 2.9	4 5.8	3 4.3	1 1.4	2 2.9	2 2.9	2 2.9	1 1.4	1 1.4

(注) 上段:実数, 下段:%。

(5) 家庭の情報化, 将来の不安について

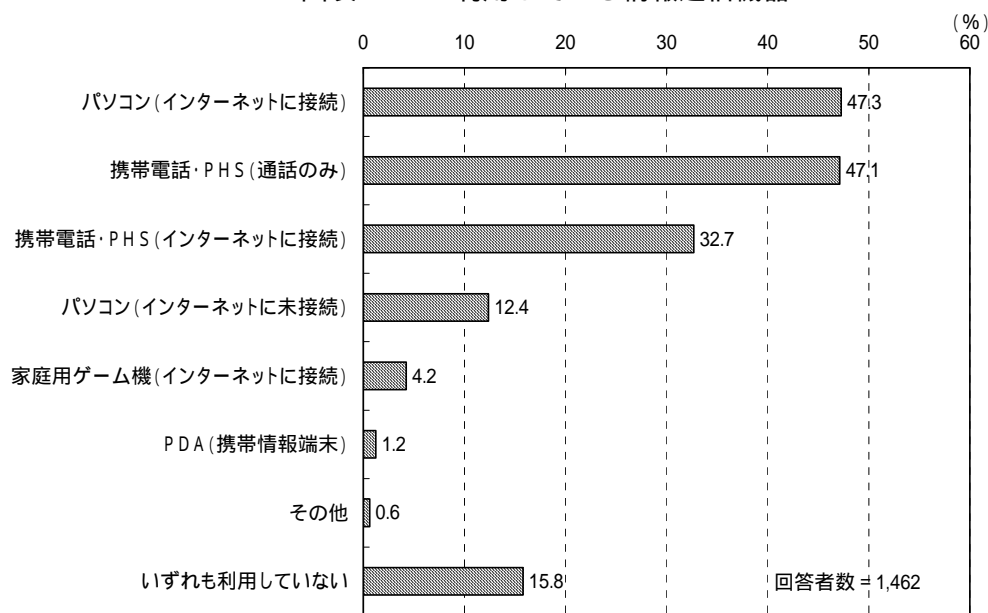
家庭の情報化

【利用している情報通信機器】(問 10)【複数回答】

家庭における情報化の状況を把握するために, 利用している情報通信機器について質問した。この結果, 「パソコン(インターネットに接続)」や「携帯電話・PHS(通話のみ)」で5割弱となっており, また, 「携帯電話・PHS(インターネットに接続)」は3割を超えている。

世帯構成別に見ると, 単身世帯や夫婦世帯の「いずれも利用していない」の割合が高くなっている。

図表 5 2 利用している情報通信機器



図表 5 3 世帯構成別に見た「利用している情報通信機器」

	回答者数	パソコン(インターネットに接続)	携帯電話・PHS(通話のみ)	携帯電話・PHS(インターネットに接続)	パソコン(インターネットに未接続)	家庭用ゲーム機(インターネットに接続)	PDA(携帯情報端末)	その他	いずれも利用していない
全体	1,462	691	689	478	181	62	18	9	231
	100.0	47.3	47.1	32.7	12.4	4.2	1.2	0.6	15.8
単身	106	30	38	30	9	2	1	1	35
	100.0	28.3	35.8	28.3	8.5	1.9	0.9	0.9	33.0
夫婦	409	140	200	71	39	11	4	2	106
	100.0	34.2	48.9	17.4	9.5	2.7	1.0	0.5	25.9
親子	630	348	285	258	79	25	9	3	65
	100.0	55.2	45.2	41.0	12.5	4.0	1.4	0.5	10.3
親子・孫	256	146	129	103	44	23	4	3	18
	100.0	57.0	50.4	40.2	17.2	9.0	1.6	1.2	7.0
その他	33	15	21	9	5	1	0	0	3
	100.0	45.5	63.6	27.3	15.2	3.0	0.0	0.0	9.1

(注) 上段: 実数, 下段: %.

年齢別に見た場合、おおむね40歳代以下において、「パソコン(インターネットに接続)」や「携帯電話・PHS(インターネットに接続)」の割合が高い。先に見たとおり、単身世帯や夫婦世帯では「いずれも利用していない」の割合が高かったが、特に年代の高い回答者において「いずれも利用していない」といえる。

また、職業別で見れば、「携帯電話・PHS(インターネットに接続)」は学生で特に高く、「パソコン(インターネットに接続)」については、公務員・団体職員や学生で割合が高い。

図表 5 4 年齢別に見た「利用している情報通信機器」

	回答者数	続タパソコンネットに接続(インターネット)	S携帯電話のみ(通話のみ)	S携帯電話・PHSに接続	ネット(インターネットに接続)	S携帯電話・PHSに接続	パソコンネットに接続(インターネット)	家庭用ゲーム機に接続(インターネット)	報PD A(携帯情報端末)	その他	いずれも利用していない
全体	1,462 100.0	691 47.3	689 47.1	478 32.7	181 12.4	62 4.2	18 1.2	9 0.6	231 15.8		
20~24歳	60 100.0	34 56.7	23 38.3	41 68.3	4 6.7	5 8.3	1 1.7	0 0.0	1 1.7		
25~29歳	66 100.0	33 50.0	16 24.2	48 72.7	12 18.2	1 1.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5		
30歳代	223 100.0	132 59.2	87 39.0	124 55.6	35 15.7	11 4.9	2 0.9	1 0.4	5 2.2		
40歳代	186 100.0	130 69.9	73 39.2	95 51.1	24 12.9	12 6.5	3 1.6	1 0.5	8 4.3		
50歳代	310 100.0	166 53.5	179 57.7	72 23.2	44 14.2	11 3.5	6 1.9	5 1.6	37 11.9		
60歳代	344 100.0	117 34.0	188 54.7	60 17.4	46 13.4	10 2.9	5 1.5	1 0.3	78 22.7		
70歳代	190 100.0	53 27.9	82 43.2	26 13.7	9 4.7	9 4.7	1 0.5	0 0.0	76 40.0		
80歳以上	66 100.0	16 24.2	33 50.0	5 7.6	4 6.1	2 3.0	0 0.0	1 1.5	23 34.8		

(注) 上段:実数, 下段:%。

図表 5 5 職業別に見た「利用している情報通信機器」

	回答者数	ネパソコンネットに接続(インターネット)	話携の帯電話のみ(通話のみ)	話携の帯電話・PHS(通話のみ)	ン携帯電話・PHSに接続(インターネット)	ネパソコンネットに接続(インターネット)	タ家庭用ゲーム機に接続(インターネット)	末PD A(携帯情報端末)	その他	いいずれも利用していない
全体	1,462 100.0	691 47.3	689 47.1	478 32.7	181 12.4	62 4.2	18 1.2	9 0.6	231 15.8	
農林漁業	30 100.0	10 33.3	13 43.3	6 20.0	3 10.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	8 26.7	
自営(商工・サービス等)	148 100.0	76 51.4	80 54.1	44 29.7	13 8.8	6 4.1	4 2.7	1 0.7	22 14.9	
会社員	354 100.0	203 57.3	154 43.5	165 46.6	45 12.7	21 5.9	5 1.4	3 0.8	23 6.5	
公務員・団体職員	87 100.0	62 71.3	41 47.1	42 48.3	23 26.4	2 2.3	1 1.1	0 0.0	1 1.1	
パート・内職	186 100.0	82 44.1	100 53.8	64 34.4	28 15.1	10 5.4	0 0.0	2 1.1	18 9.7	
学生	22 100.0	15 68.2	6 27.3	17 77.3	2 9.1	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	
家事専業	252 100.0	122 48.4	110 43.7	80 31.7	33 13.1	9 3.6	4 1.6	2 0.8	45 17.9	
無職	364 100.0	110 30.2	174 47.8	53 14.6	32 8.8	11 3.0	3 0.8	1 0.3	113 31.0	

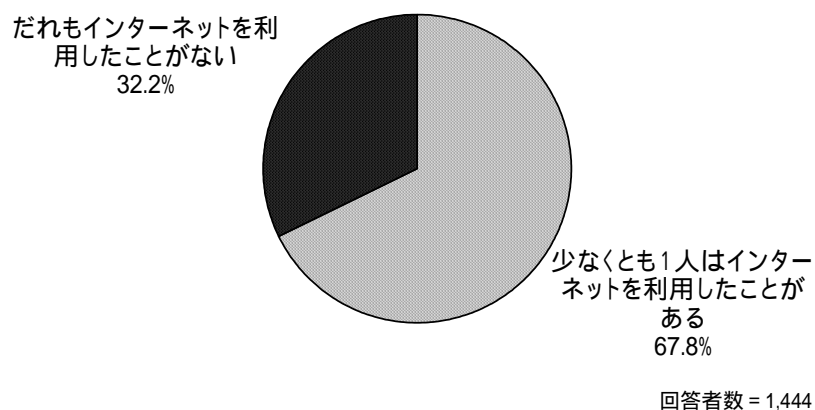
(注) 上段:実数, 下段:%。

【家庭でのインターネットの利用状況】(問11) [単数回答]

家庭でのインターネットの利用状況については、「少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」と回答した人は約7割となっている。

世帯構成別に見ると、親子、親子・孫の世帯で高い。

図表 5 6 家庭でのインターネットの利用状況



図表 5 7 世帯構成別に見た「家庭でのインターネットの利用状況」

	回答者数	少なくとも1人が利用したことがある	だれも利用したことがない
全体	1,444 100.0	979 67.8	465 32.2
単身	101 100.0	48 47.5	53 52.5
夫婦	407 100.0	202 49.6	205 50.4
親子	628 100.0	496 79.0	132 21.0
親子・孫	249 100.0	191 76.7	58 23.3
その他	32 100.0	22 68.8	10 31.3

(注) 上段: 実数, 下段: %。

年齢別に見ると、若い年代ほど利用割合が高いことから、単身世帯では特に年代の高い回答者ほどインターネットを利用していないと考えられる。

図表 5 8 年齢別に見た「家庭でのインターネットの利用状況」

	回 答 者 数	少 な く も 1 人 は 利 用 し た こ と が あ る	だ れ も 利 用 し た こ と が あ る
全 体	1,444 100.0	979 67.8	465 32.2
20～24歳	61 100.0	53 86.9	8 13.1
25～29歳	65 100.0	60 92.3	5 7.7
30歳代	226 100.0	195 86.3	31 13.7
40歳代	187 100.0	166 88.8	21 11.2
50歳代	308 100.0	224 72.7	84 27.3
60歳代	335 100.0	167 49.9	168 50.1
70歳代	183 100.0	73 39.9	110 60.1
80歳以上	63 100.0	27 42.9	36 57.1

(注)上段:実数,下段:%。

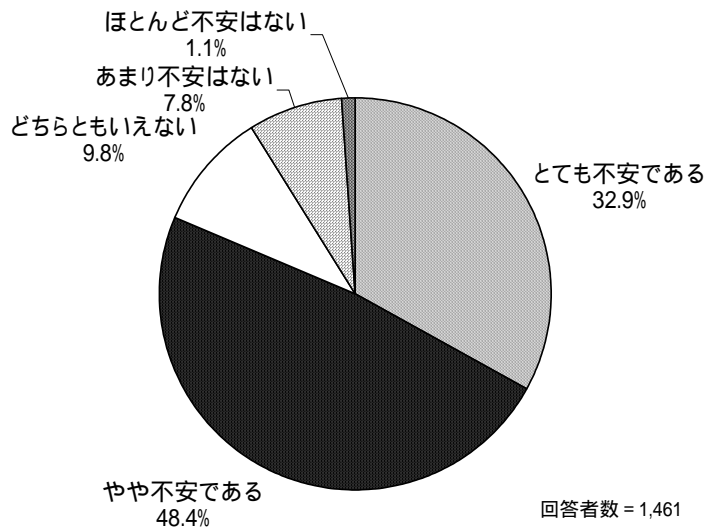
将来の不安

【将来に対する不安の程度】(問 12)【単数回答】

今後 10 年後の将来についての不安の程度は、「とても不安である」と「やや不安である」の合計でおよそ 8 割に達している。

年齢別に見た場合、25～29 歳や 40 歳代において「とても不安」と感じている回答者が多く、中でも 25～29 歳では、不安(「とても不安」と「やや不安」の合計)の割合が高い。

図表 59 将来に対する不安の程度



図表 60 年齢別に見た「将来に対する不安の程度」

	回答者数	「とても不安」と「やや不安」の合計		どちらともいえない	「ほとんど不安はない」と「あまり不安はない」の合計		
		とても不安である	やや不安である		ほとんど不安はない	あまり不安はない	ほとんど不安はない
全体	1,461	481	707	143	130	114	16
	100.0	32.9	48.4	9.8	8.9	7.8	1.1
20～24歳	60	18	27	12	3	3	0
	100.0	30.0	45.0	20.0	5.0	5.0	0.0
25～29歳	64	26	32	4	2	2	0
	100.0	90.6	40.6	6.3	3.1	3.1	0.0
30歳代	219	66	117	21	15	14	1
	100.0	30.1	53.4	9.6	6.8	6.4	0.5
40歳代	188	80	74	23	11	8	3
	100.0	81.9	42.6	12.2	5.9	4.3	1.6
50歳代	313	116	150	24	23	21	2
	100.0	85.0	47.9	7.7	7.3	6.7	0.6
60歳代	342	106	178	28	30	28	2
	100.0	83.0	52.0	8.2	8.8	8.2	0.6
70歳代	191	43	99	20	29	23	6
	100.0	22.5	51.8	10.5	15.2	12.0	3.1
80歳以上	67	17	24	9	17	15	2
	100.0	25.4	35.8	13.4	25.4	22.4	3.0

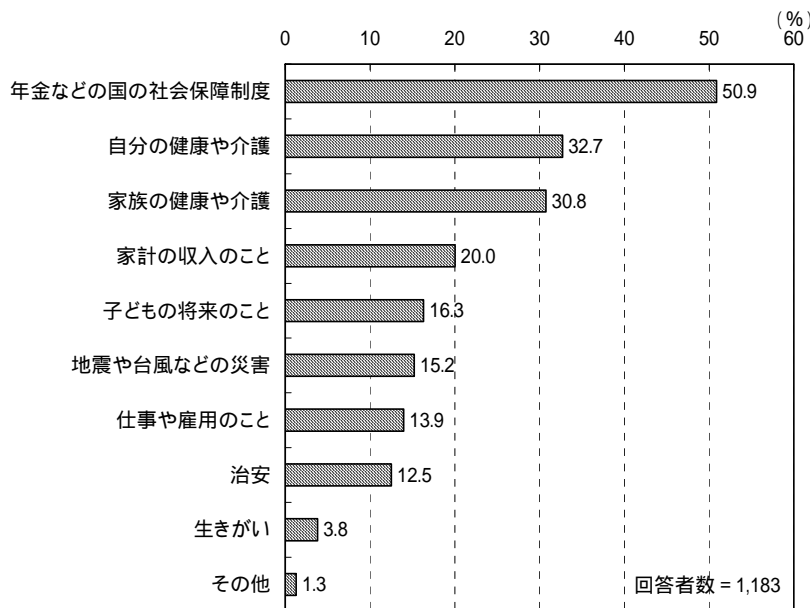
(注) 上段: 実数, 下段: %。

【将来に対する不安の内容】(問 13) [複数回答]

不安の内容としては、半数が「年金などの国の社会保障制度」、「自分の健康や介護」や「家族の健康や介護」がおよそ3割となっている。

年齢別では、20～30歳代の「仕事や雇用のこと」、30歳代の「家計の収入のこと」や「子ども将来のこと」、50～60歳代の「年金などの国の社会保障制度」、60歳代以上の「自分の健康や介護」などの割合が高く、各年代によって、それぞれ不安の内容が異なっていることが分かる。

図表 6 1 将来への不安の内容



図表 6 2 年齢別に見た「将来への不安の内容」

	回答者数	年金などの国の社会保障制度	自分の健康や介護	家族の健康や介護	家計の収入	子どもの将来	地震や台風などの災害	仕事や雇用	治安	生きがい	その他
全体	1,183	602	387	364	237	193	180	165	148	45	15
	100.0	50.9	32.7	30.8	20.0	16.3	15.2	13.9	12.5	3.8	1.3
20～24歳	45	21	5	10	13	5	7	12	8	3	2
	100.0	46.7	11.1	22.2	28.9	11.1	15.6	26.7	17.8	6.7	4.4
25～29歳	57	24	3	12	17	12	11	17	8	7	1
	100.0	42.1	5.3	21.1	29.8	21.1	19.3	29.8	14.0	12.3	1.8
30歳代	183	74	11	51	59	62	25	49	27	6	2
	100.0	40.4	6.0	27.9	32.2	33.9	13.7	26.8	14.8	3.3	1.1
40歳代	154	68	35	51	40	37	15	35	20	3	3
	100.0	44.2	22.7	33.1	26.0	24.0	9.7	22.7	13.0	1.9	1.9
50歳代	265	164	89	84	50	37	31	32	33	11	0
	100.0	61.9	33.6	31.7	18.9	14.0	11.7	12.1	12.5	4.2	0.0
60歳代	283	181	125	96	34	24	44	10	30	6	3
	100.0	64.0	44.2	33.9	12.0	8.5	15.5	3.5	10.6	2.1	1.1
70歳代	141	53	90	44	18	11	33	6	16	6	2
	100.0	37.6	63.8	31.2	12.8	7.8	23.4	4.3	11.3	4.3	1.4
80歳以上	40	10	24	12	2	4	10	1	5	3	1
	100.0	25.0	60.0	30.0	5.0	10.0	25.0	2.5	12.5	7.5	2.5

(注) 上段:実数, 下段:%。

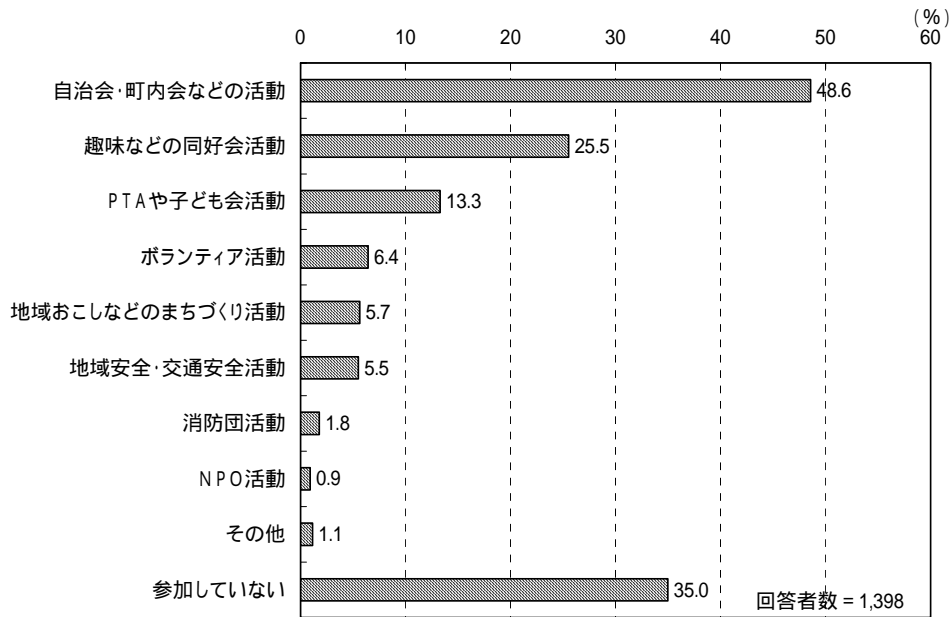
(6) 地域の活動，市民と行政の役割分担について

参加している活動(問 14)[複数回答]

回答者の 65%が何らかの地域の活動に参加しており，中でも「自治会・町内会などの活動」が約 5 割で最も多い。

年齢別に見ると，20 歳代及び 80 歳以上の「参加していない」の割合が高く，その他，30 歳代の「PTA や子ども会活動」，60 歳代や 70 歳代の「趣味などの同好会活動」が高い。

図表 6 3 参加している地域活動



図表 6 4 年齢別に見た「参加している地域活動」

	回答者数	自治会・町内会などの活動	趣味などの同好会活動	PTA や子ども会活動	ボランティア活動	地域おこしなどのまちづくり活動	地域安全・交通安全活動	消防団活動	NPO 活動	その他	参加していない
全体	1,398	679	357	186	90	79	77	25	13	16	489
	100.0	48.6	25.5	13.3	6.4	5.7	5.5	1.8	0.9	1.1	35.0
20～24歳	58	8	7	1	1	3	0	2	0	0	41
	100.0	13.8	12.1	1.7	1.7	5.2	0.0	3.4	0.0	0.0	70.7
25～29歳	62	16	8	4	1	1	0	3	1	0	39
	100.0	25.8	12.9	6.5	1.6	1.6	0.0	4.8	1.6	0.0	62.9
30歳代	211	86	26	79	3	8	14	10	0	1	77
	100.0	40.8	12.3	37.4	1.4	3.8	6.6	4.7	0.0	0.5	36.5
40歳代	182	105	41	70	10	8	10	3	3	4	44
	100.0	57.7	22.5	38.5	5.5	4.4	5.5	1.6	1.6	2.2	24.2
50歳代	292	157	76	15	19	14	11	2	3	4	100
	100.0	53.8	26.0	5.1	6.5	4.8	3.8	0.7	1.0	1.4	34.2
60歳代	322	177	115	10	32	26	19	2	4	4	93
	100.0	55.0	35.7	3.1	9.9	8.1	5.9	0.6	1.2	1.2	28.9
70歳代	189	100	71	6	21	13	20	2	1	2	51
	100.0	52.9	37.6	3.2	11.1	6.9	10.6	1.1	0.5	1.1	27.0
80歳以上	66	24	9	1	2	5	2	1	1	1	36
	100.0	36.4	13.6	1.5	3.0	7.6	3.0	1.5	1.5	1.5	54.5

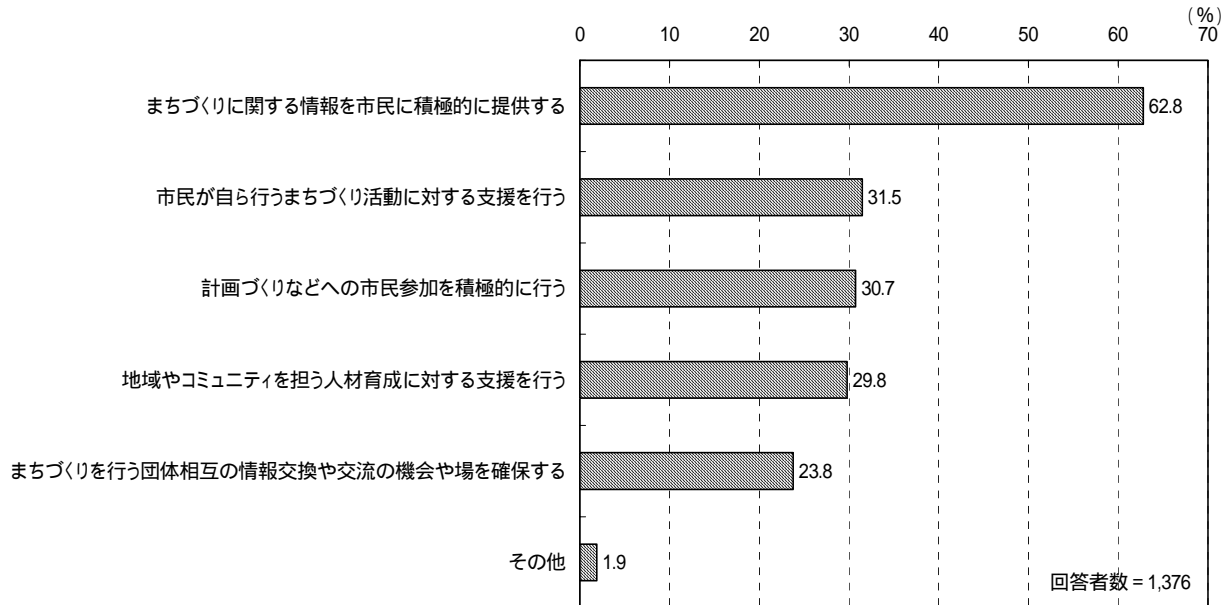
(注) 上段:実数, 下段:%。

市民参加のまちづくりを活発にする方法(問 15)[複数回答]

市民参加のまちづくりを活発にする方法としては、「まちづくりに関する情報を市民に積極的に提供する」が約6割と非常に多かった。

なお、年齢別では、顕著な相違は見られない。

図表 6 5 市民参加のまちづくりを活発にする方法



図表 6 6 年齢別に見た「市民参加のまちづくりを活発にする方法」

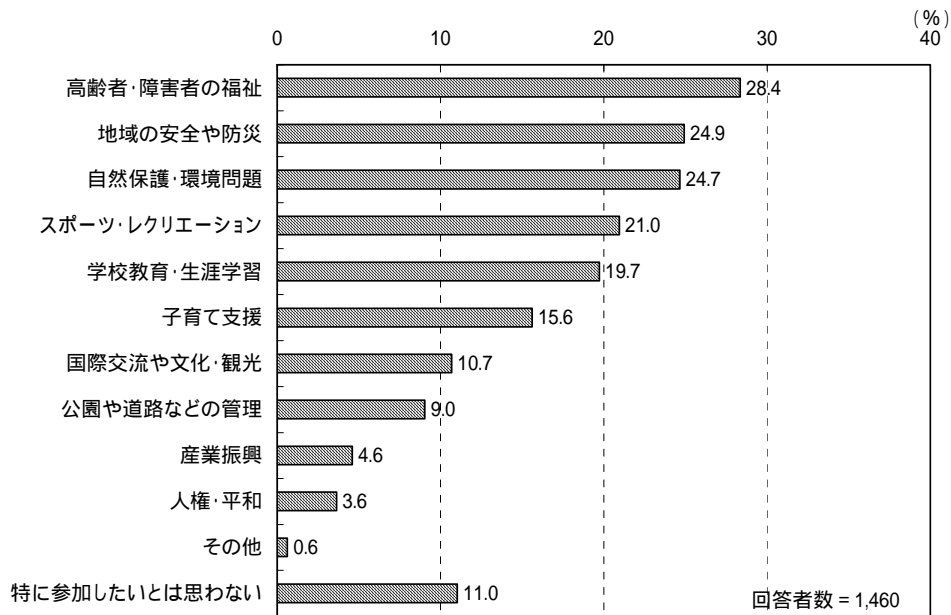
	回答者数	提供するまちづくりに積極的に取り組む	市民が自ら行うまちづくり活動に対する支援を行う	計画づくりなどへの市民参加を積極的に行う	地域やコミュニティを担う人材育成に対する支援を行う	まちづくりに関する情報交換や交流の機会や場を確保する	その他
全体	1,376	864 100.0	433 62.8	423 31.5	410 30.7	327 29.8	26 23.8
20～24歳	59	34 100.0	20 57.6	19 33.9	13 22.0	10 16.9	2 3.4
25～29歳	65	40 100.0	19 61.5	16 29.2	13 20.0	17 26.2	2 3.1
30歳代	216	138 100.0	62 63.9	65 28.7	58 30.1	56 26.9	6 2.8
40歳代	185	111 100.0	56 60.0	62 30.3	62 33.5	46 31.4	2 24.9
50歳代	297	188 100.0	92 63.3	92 31.0	89 30.0	73 31.6	6 24.6
60歳代	315	198 100.0	138 62.9	98 31.1	103 32.7	98 31.1	74 23.5
70歳代	170	115 100.0	67 67.6	65 38.2	47 27.6	50 29.4	33 19.4
80歳以上	55	31 100.0	18 56.4	18 32.7	15 27.3	21 38.2	14 25.5

(注) 上段:実数, 下段:%。

参加したいまちづくりの内容(問16)[複数回答]

参加したいまちづくりの内容としては、「高齢者・障害者の福祉」(28.4%)や「地域の安全や防災」(24.9%)、「自然保護・環境問題」(24.7%)、「スポーツ・レクリエーション」(21.0%)などで比較的多い。

図表 6 7 参加したいまちづくりの内容



年齢別では、25～30歳代の「子育て支援」、40歳代の「学校教育・生涯学習」、また、70歳代の「高齢者・障害者の福祉」が他の年代と比較して割合が高い。その他、80歳以上の「特に参加したいとは思わない」とする割合も高い。

なお、参考までに図表 69 に、まちづくりに対する関心別の結果を掲載している。

図表 68 年齢別に見た「参加したいまちづくりの内容」

	回答者数	高齢者・障害者の福祉	地域の安全や防災	自然保護・環境問題	スポーツ・レクリエーション	学校教育・生涯学習	子育て支援	国際交流や文化・観光	公園や道路などの管理	産業振興	人権・平和	その他	特に参加したいとは思わない
全体	1,460 100.0	414 28.4	364 24.9	360 24.7	306 21.0	288 19.7	228 15.6	156 10.7	132 9.0	67 4.6	53 3.6	9 0.6	161 11.0
20～24歳	60 100.0	11 18.3	10 16.7	16 26.7	11 18.3	9 15.0	12 20.0	5 8.3	4 6.7	6 10.0	5 8.3	0 0.0	8 13.3
25～29歳	66 100.0	11 16.7	12 18.2	15 22.7	18 27.3	8 12.1	22 33.3	10 15.2	3 4.5	6 9.1	1 1.5	0 0.0	6 9.1
30歳代	223 100.0	27 12.1	43 19.3	42 18.8	57 25.6	64 28.7	76 34.1	30 13.5	8 3.6	6 2.7	5 2.2	3 1.3	22 9.9
40歳代	187 100.0	42 22.5	40 21.4	56 29.9	47 25.1	60 32.1	31 16.6	27 14.4	9 4.8	7 3.7	6 3.2	0 0.0	14 7.5
50歳代	311 100.0	91 29.3	85 27.3	89 28.6	64 20.6	47 15.1	38 12.2	36 11.6	35 11.3	23 7.4	10 3.2	1 0.3	32 10.3
60歳代	342 100.0	119 34.8	109 31.9	87 25.4	80 23.4	52 15.2	27 7.9	27 7.9	38 11.1	9 2.6	12 3.5	2 0.6	31 9.1
70歳代	189 100.0	83 43.9	52 27.5	41 21.7	21 11.1	42 22.2	14 7.4	17 9.0	21 11.1	7 3.7	7 3.7	2 1.1	22 11.6
80歳以上	65 100.0	25 38.5	10 15.4	9 13.8	7 10.8	5 7.7	5 7.7	3 4.6	9 13.8	3 4.6	6 9.2	1 1.5	22 33.8

(注) 上段:実数, 下段: %。

図表 69 まちづくりに対する関心別に見た「参加したいまちづくりの内容」

	回答者数	高齢者・障害者の福祉	地域の安全や防災	自然保護・環境問題	スポーツ・レクリエーション	学校教育・生涯学習	子育て支援	国際交流や文化・観光	公園や道路などの管理	産業振興	人権・平和	その他	特に参加したいとは思わない
全体	1,460 100.0	414 28.4	364 24.9	360 24.7	306 21.0	288 19.7	228 15.6	156 10.7	132 9.0	67 4.6	53 3.6	9 0.6	161 11.0
関心がある	667 100.0	210 31.5	194 29.1	154 23.1	136 20.4	148 22.2	98 14.7	84 12.6	69 10.3	33 4.9	33 4.9	5 0.7	49 7.3
少し関心がある	436 100.0	116 26.6	102 23.4	122 28.0	98 22.5	92 21.1	67 15.4	47 10.8	31 7.1	19 4.4	9 2.1	2 0.5	45 10.3
どちらともいえない	201 100.0	53 26.4	45 22.4	49 24.4	44 21.9	33 16.4	37 18.4	16 8.0	15 7.5	7 3.5	5 2.5	2 1.0	29 14.4
あまり関心がない	98 100.0	23 23.5	15 15.3	21 21.4	20 20.4	9 9.2	19 19.4	7 7.1	10 10.2	4 4.1	4 4.1	0 0.0	21 21.4
関心がない	22 100.0	2 9.1	0 0.0	4 18.2	4 18.2	0 0.0	3 13.6	0 0.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 54.5

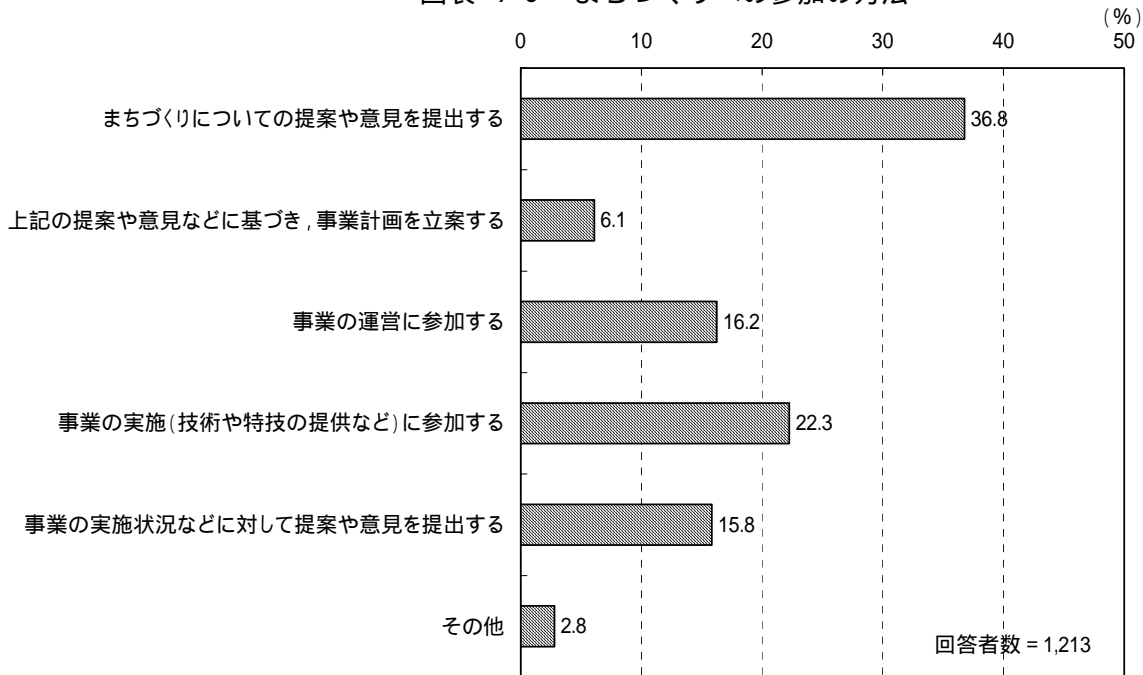
(注) 上段:実数, 下段: %。

まちづくりへの参加の方法(問 17)[複数回答]

まちづくりへの参加の方法について質問したところ、「まちづくりについての提案や意見を提出する」といった政策の企画段階を選択した人が 36.8%で最も多く、次いで、「事業の実施(技術や特技の提供など)に参加する」(22.3%)が多かった。

年齢別に見ると、若い年代及び 80 歳以上の「まちづくりについての提案や意見を提出する」が他の年代と比較して割合が高い。

図表 70 まちづくりへの参加の方法



図表 71 年齢別に見た「まちづくりへの参加の方法」

	回答者数	まちづくりの提案や意見を提出する	まちづくりの提案や意見を提出する	まちづくりの提案や意見を提出する	まちづくりの提案や意見を提出する	まちづくりの提案や意見を提出する	まちづくりの提案や意見を提出する	その他
全体	1,213	446	74	197	270	192	34	2.8
	100.0	36.8	6.1	16.2	22.3	15.8		
20～24歳	57	28	2	6	9	7	5	
	100.0	49.1	3.5	10.5	15.8	12.3	8.8	
25～29歳	60	26	2	7	15	9	1	
	100.0	43.3	3.3	11.7	25.0	15.0	1.7	
30歳代	207	81	14	27	45	36	4	
	100.0	39.1	6.8	13.0	21.7	17.4	1.9	
40歳代	152	54	7	23	36	28	4	
	100.0	35.5	4.6	15.1	23.7	18.4	2.6	
50歳代	274	96	13	55	71	35	4	
	100.0	35.0	4.7	20.1	25.9	12.8	1.5	
60歳代	274	88	18	51	65	47	5	
	100.0	32.1	6.6	18.6	23.7	17.2	1.8	
70歳代	140	51	13	22	23	24	7	
	100.0	36.4	9.3	15.7	16.4	17.1	5.0	
80歳以上	41	20	4	5	4	5	3	
	100.0	48.8	9.8	12.2	9.8	12.2	7.3	

(注) 上段:実数, 下段: %。

参考までに、まちづくりに対する関心別に見た結果を図表 7 2 に掲載している。

図表 7 2 まちづくりに対する関心別に見た「まちづくりへの参加の方法」

	回答者数	まちづくりや意見を提出するの	立案する	左記の提案や意見など	事業の運営に参加する	技術の提供など（技術や参加特	出する	対して提案や意見などを提	事業の実施状況などに	その他
全 体	1,213 100.0	446 36.8	74 6.1	197 16.2	270 22.3	192 15.8	34 2.8			
関心がある	568 100.0	208 36.6	39 6.9	98 17.3	122 21.5	85 15.0	16 2.8			
少し関心がある	364 100.0	133 36.5	25 6.9	54 14.8	84 23.1	62 17.0	6 1.6			
どちらともいえない	154 100.0	62 40.3	7 4.5	26 16.9	35 22.7	22 14.3	2 1.3			
あまり関心がない	83 100.0	30 36.1	2 2.4	15 18.1	21 25.3	11 13.3	4 4.8			
関心がない	14 100.0	4 28.6	0 0.0	0 0.0	1 7.1	5 35.7	4 28.6			

(注) 上段:実数, 下段:%。

(7) 福山市が目指すべき将来像やまちづくりの在り方などに関する自由意見

最後に福山市が目指すべき将来像やまちづくりの在り方などに関して自由に意見を伺った。アンケートの有効回収数 1,511 票のうち、631 件の記入があり、記入率は 41.8%であった。

自由意見においては、様々な観点からの回答があったが、中でも多かった意見としては、「道路の整備・充実」や「学校教育の向上」、「効率的な財政運営」、また、「駅前の整備、市街地の整備」や「河川などの自然環境、景観の保全」、「防犯対策の強化など安全なまちづくりの推進」、「高齢者福祉サービスや施設の充実」などが挙げられる。

図表 73 主な自由意見の概要

主な意見	件数(件)
道路の整備・充実	74
学校教育の向上	68
効率的な財政運営	68
駅前の整備、市街地の整備	62
河川などの自然環境、景観の保全	60
防犯対策の強化など安全なまちづくりの推進	56
高齢者福祉サービスや施設の充実	41
市民参加のまちづくりの推進	39
行政サービスの向上	37
地域の活動や交流の活性化	37
子育て支援の充実	36
地域間のバランスのとれたまちづくり	33
バス交通の整備・充実	28
観光振興の充実	28
図書館などの文化施設の充実	28
ごみの減量化、分別の徹底、リサイクルや美化の推進	25
医療施設・サービスの充実	24
公園や緑地の整備	21
歩道など交通安全施設の整備	24
スポーツ施設の充実	19
駐車場の整備	18
障害者福祉の充実	16
下水道の整備	12

(注) 多かった意見を記載。

5. 市民の問題意識とニーズのまとめ

(1) 福山市への定住意向について

- ・ 「これからも福山市に住み続けたい」とする回答者が8割を超える。
- ・ 引越したいとする回答者に対してその理由を質問したところ、「福祉や医療サービスが現在よりも充実した地域に住みたいから」が約2割で最も多い。

(2) まちづくりに対する関心や福山市らしさなどについて

まちづくりに対する関心

- ・ 「関心がある」「少し関心がある」を合わせて8割弱に達する。
- ・ まちづくりに関心がないとする回答者では、「市民の意見が反映されにくいと思うため」(35.7%)や「まちづくりを考える機会がないため」(26.2%)などの理由が多い。

福山市らしさ

- ・ 「ばら・ばら祭」という意見が約6割で最も多く、次いで、「鞆の浦・鯛網」(31.6%)、「福山城・城下町」(25.3%)が2割を超え、その他、「気候のよさ」(16.8%)、「鉄・製鉄所」(12.5%)、「芦田川」(11.3%)などが比較的多い。

(3) これまでの10年間の政策体系別評価(行政サービスなどに対する満足度・重要度)

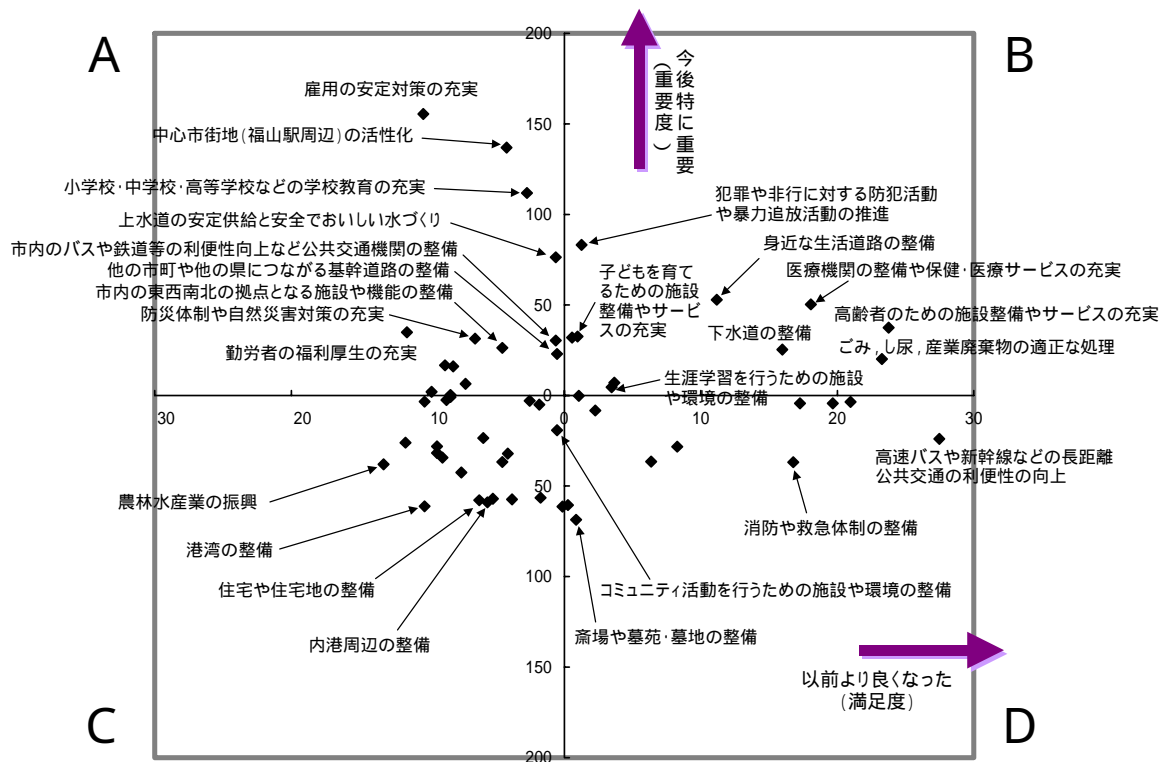
政策体系別に見た「以前より良くなったもの」と「今後重要なもの」

- ・ 施策の柱ごとに、「以前より良くなったもの」と「今後重要なもの」として最も割合の高かったものを抽出すれば以下のとおり。

施策の柱	以前より良くなったもの	今後重要なもの
心ふれあい健やかに安心して暮らせるまち	高齢者のための施設整備やサービスの充実	医療機関の整備や保健・医療サービスの充実
自然とともに生きるまち	ごみ、し尿、産業廃棄物の適正な処理	河川や水路、ため池などの水質浄化
コミュニティの形成・快適な生活環境の整備	市の広報などによる市民への情報提供の充実	上水道の安定供給と安全でおいしい水づくり
安全な生活環境の確保	消防や救急体制の整備	犯罪や非行に対する防犯活動や暴力追放活動の推進
個性を育む教育・文化のまち	文化活動を行うための施設や文化環境の整備	小学校・中学校・高等学校などの学校教育の推進
地域の資質を活かした産業のあるまち	産業の基盤となる工業団地、流通団地などの整備	雇用の安定対策の充実
発展する都市圏の中核となるまち	高速バスや新幹線などの長距離公共交通の利便性の向上	中心市街地(福山駅周辺)の活性化

市民満足度と重要度から見た位置付け

- 「A：満足度が低く重要度が高い」「B：満足度も重要度も高い」「C：満足度も重要度も低い」「D：満足度が高く重要度は低い」の位置付けについて整理を行った結果は、次のとおり。



(注) 満足度や重要度の高低から見て、特に大きい又は小さい行政サービスなどについて名称を表示。

住みやすさに関する総合的な満足度

- 満足とやや満足の合計 (44.5%) が、やや不満と不満の合計 (23.7%) を大きく上回る。

(4) 今後の重点的な取組(福山市の将来像, 重点的に行うべき取組)

- 今後のまちづくりを行う上での将来像や考え方については、「安全・安心」が約4割で最も多く、次いで、「健康・福祉」(32.4%)、「活力・にぎわい」(28.1%)、「子育て・教育」(26.7%)、「自然・環境」(22.3%) が多い。
- 今後の福山市のまちづくりにおいて重点的に行うべき取組としては、「高齢者福祉の充実」が38.9%で最も多い。次いで、「学校教育」(32.7%) や「ごみの減量化・リサイクルの推進」(27.5%)、「保健・医療の充実」(26.4%)、「雇用の場の確保」(25.7%) が多い。

(5) 家庭の情報化, 将来の不安について

家庭の情報化

- ・ 家庭で利用している情報通信機器は、「パソコン（インターネットに接続）」や「携帯電話・PHS（通話のみ）」で5割弱となっており、「携帯電話・PHS（インターネットに接続）」は3割を超える。
- ・ 家庭でのインターネットの利用状況については、「少なくとも1人はインターネットを利用したことがある」と回答した人は約7割である。

将来の不安

- ・ 「とても不安である」と「やや不安である」の合計でおよそ8割に達する。
- ・ 不安の内容としては、半数が「年金などの国の社会保障制度」、「自分の健康や介護」や「家族の健康や介護」がおよそ3割である。ただし、各年代によって、それぞれ不安の内容が異なる。

(6) 地域の活動, 市民と行政の役割分担について

- ・ 回答者の65%が何らかの地域の活動に参加しており、中でも「自治会・町内会などの活動」が約5割で最も多い。
- ・ 市民参加のまちづくりを活発にする方法としては、「まちづくりに関する情報を市民に積極的に提供する」が約6割と多い。
- ・ 参加したいまちづくりの内容については、「高齢者・障害者の福祉」(28.4%)や「地域の安全や防災」(24.9%),「自然保護・環境問題」(24.7%),「スポーツ・レクリエーション」(21.0%)などで比較的多い。
- ・ まちづくりの参加の方法については、「まちづくりについての提案や意見を提出する」といった政策の企画段階を選択した人が36.8%で最も多く、次いで、「事業の実施(技術や特技の提供など)に参加する」(22.3%)が多い。

(7) 福山市が目指すべき将来像やまちづくりの在り方などに関する自由意見

- ・ 「道路の整備・充実」や「学校教育の向上」、「効率的な財政運営」、「駅前の整備、市街地の整備」、「河川などの自然環境、景観の保全」、「防犯対策の強化など安全なまちづくりの推進」、「高齢者福祉サービスや施設の充実」などの意見が多い。

資料編

資料編として、2005年（平成17年）1月に実施した調査票を掲載。なお、神辺町追加調査における調査票では、問5（福山市らしさをイメージするもの）について、神辺町固有の選択肢を追加している。

福山市の新しいまちづくりに関する 市民アンケート

市民の皆様には、日ごろから市政への格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。福山市では、市民の皆様にとって住みよいまちづくりを目指し、行政運営の基本方針となる新たな総合計画の策定を進めております。

この総合計画の策定に当たっては、福山市の目指すべき将来像やまちづくりのあり方などについて、市民の皆様のご意見を伺い、新たな総合計画に反映して参りたいと考えております。

つきましては、市内と沼隈町に住民登録されている20歳以上の方の中から3,000人を無作為に選ばせていただき、アンケート調査をお願いすることといたしました。

この調査は、統計的な処理が目的であり、無記名式ですので、個人が特定されることはありません。調査の目的以外には一切使用いたしませんので、ご回答いただいた方に対して、ご迷惑をおかけすることはございません。

ご多用のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

2005年（平成17年）1月

福山市

市長 羽田 皓

【ご記入のお願い】

このアンケート調査には、アンケート調査票を受け取られたご本人がご回答ください。ご本人の調査票へのご記入が困難な場合には、ご家族の方などに回答のご協力をお願いいたします。

回答は、アンケート調査票に直接ご記入ください。ご回答は、当てはまるものの番号を で囲むか、 の中に番号を記入してください。なお、「その他」に当てはまる場合は、具体的な内容を（ ）内に記入してください。

誠に勝手なお願いですが、ご回答は**2005年（平成17年）1月31日（月）までに**、同封の返信用封筒に入れて、郵便によりご返送ください（切手は不要です）。また、返信用封筒やアンケート調査票にお名前、ご住所などの記入の必要はありません。

お問い合わせ先

福山市 市長室 企画課

〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号

TEL：084-928-1012 FAX：084-920-1070 E-mail：kikaku@city.fukuyama.hiroshima.jp

このページから 11 ページまでがアンケート回答用紙です。

福山市への定住意向について

問1 あなたは、これからも福山市に住みたいとお考えですか。次の中からあてはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. これからも福山市（沼隈町を含む）に住み続けたい | 問3へ |
| 2. 広島県内の他の市町に引越したい | } 問2へ |
| 3. 広島県外の地域に引越したい | |
| 4. わからない | 問3へ |

問2 問1で「2.広島県内の他の市町に引越したい」または「3.広島県外の地域に引越したい」を選んだ方に質問します。

引越したい理由は何ですか。次の中から1つ選び、番号を で囲んでください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 通勤・通学が不便だから |
| 2. 買い物など日常生活面で不便だから |
| 3. 福祉や医療サービスが現在よりも充実した地域に住みたいから |
| 4. 働く場所が少ないから |
| 5. ご近所との関係の問題 |
| 6. 周りの生活環境がよくないため |
| 7. 子どもの教育の問題 |
| 8. 住宅の問題（手狭になった、バリアフリー住宅 が必要など） |
| 9. その他（具体的に) |

バリアフリー住宅とは、床の段差がないなど自由に動き回れる住宅のこと。

まちづくりに対する関心や福山市らしさなどについて

問3 あなたは、福山市のまちづくりに関心がありますか。次の中から、あてはまるものを1つ選び番号を で囲んでください。

1. 関心がある	}	問5へ
2. 少し関心がある		
3. どちらともいえない	}	問4へ
4. あまり関心がない		
5. 関心がない		

問4 問3で、「3. どちらともいえない」「4. あまり関心がない」「5. 関心がない」を選んだ方に質問します。

福山市のまちづくりに関心があるとはいえないのは、なぜですか。次の中から、あてはまるものを1つ選び番号を で囲んでください。

1. まちづくりに関する情報が少ないため
2. まちづくりを考える機会がないため
3. 市民の意見が反映されにくいと思うため
4. まちづくりは市役所の仕事と思うため
5. 自分には直接関係がないと思うため
6. その他（具体的に _____ ）

問5 あなたは、「福山市らしさ」をイメージするものとして、何を思い浮かべますか。次の中から、イメージに近いものを2つまで選び、番号を で囲んでください。

1. ばら・ばら祭	8. げた・はきもの	15. 自然・緑
2. 福山城・城下町	9. 豊・備後表	16. 気候のよさ
3. 明王院	10. 備後緋・織維	17. のどか・のんびり
4. 鞆の浦・鯛網	11. 特色ある企業	18. 交通の便（新幹線・高速道路）
5. 吉備津神社（一の宮）	12. 鉄・製鉄所	19. 美術館・博物館・文化施設
6. 阿伏兎観音	13. 海・瀬戸内海	20. その他
7. 琴	14. 芦田川	（具体的に _____ ）

行政サービスなどに対する満足度・重要度について

問6 あなたは、福山市における次の取り組みについて、以前（概ね5年前）よりも良くなったと思いますか。また、今後のまちづくりで特に重要と思われるものはどれですか。記入例にならって、「良くなったもの」では、あてはまるものすべてに をつけ、「特に重要なもの」では、2つまたは3つまで 選び、番号をご記入ください。なお、沼隈町の方は、沼隈町を含む福山市の現在の状況に基づいてお答えください。

良くなったもの	特に重要なもの
以前より良くなったもの <u>すべてに</u> をつけてください	今後のまちづくりで特に重要と思われるものの番号を <u>2つまで</u> ご記入ください

記入例	<ol style="list-style-type: none"> 1. の施設整備やサービスの充実 2. のための環境の整備 3. の体制の整備 4. の活動の推進 5. の環境の充実 		番号1～5までで重要と思われるものを <u>2つまで</u> ご記入ください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; line-height: 40px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; line-height: 40px;">5</div> </div>
安心して暮らせるまち 心ふれあい健やかに	<ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな人権問題や平和のための活動・環境整備 2. 高齢者のための施設整備やサービスの充実 3. 障害者のための施設整備やサービスの充実 4. 子どもを育てるための施設整備やサービスの充実 5. 生活保護や年金などの社会保障の充実 6. 医療機関の整備や保健・医療サービスの充実 		番号1～6までで重要と思われるものを <u>2つまで</u> ご記入ください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div>
自然とともに生きるまち	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境保全のための活動や環境整備 2. ごみ、し尿、産業廃棄物の適正な処理 3. リサイクルやエネルギーの効率利用の促進 4. 大気汚染、騒音などの公害防止対策の推進 5. 河川や水路、ため池などの水質浄化 6. 森林や農地などの緑の環境の保全 7. 市民が水や緑に親しめる環境の整備 		番号1～7までで重要と思われるものを <u>2つまで</u> ご記入ください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div>

良くなったもの	特に重要なもの
以前より良くなったものすべてにをつけてください	今後のまちづくりで特に重要と思われるものの番号を2つまでご記入ください

コミュニティの形成・ 快適な生活環境の整備	1. 市の広報などによる市民への情報提供の充実		番号1～9までで重要と思われるものを2つまでご記入ください。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2. コミュニティ 活動を行うための施設や環境の整備		
	3. 上水道の安定供給と安全でおいしい水づくり		
	4. 下水道の整備		
	5. 公園や緑地の整備		
	6. 身近な生活道路の整備		
	7. 市内のバスや鉄道等の利便性向上など公共交通機関の整備		
	8. 住宅や住宅地の整備		
	9. 斎場や墓苑・墓地の整備		

コミュニティとは、人々が、地域で共同してよりよい生活条件や社会関係を実現するために取り組む活動、または、そのための組織のこと。

安全な生活環境の 確保	1. 防災体制や自然災害対策の充実		番号1～5までで重要と思われるものを2つまでご記入ください。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2. 消防や救急体制の整備		
	3. 交通安全活動の充実や駐車場・駐輪場の整備		
	4. 消費生活にかかわる情報提供など消費者保護の推進		
	5. 犯罪や非行に対する防犯活動や暴力追放活動の推進		
個性を育む 教育・文化のまち	1. 生涯学習を行うための施設や環境の整備		番号1～8までで重要と思われるものを2つまでご記入ください。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2. 小学校・中学校・高等学校などの学校教育の充実		
	3. 家庭や地域、職場などでの社会教育の充実		
	4. 学校や地域、職場などでの人権教育の推進		
	5. 青少年健全育成活動の推進		
	6. 文化活動を行うための施設や文化環境の整備		
	7. 文化財の保存や保護対策の充実		
	8. スポーツ・レクリエーション活動を行うための施設や環境の整備		
地域の資源を活かした 産業のあるまち	1. サービス業の育成や流通機能の強化		番号1～9までで重要と思われるものを2つまでご記入ください。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2. 農林水産業の振興		
	3. 繊維、木工、機械金属などの地場産業の振興		
	4. 鉄鋼業などの基幹産業の振興と新たな基幹産業の育成・誘致		
	5. 産業の基盤となる工業団地、流通団地などの整備		
	6. 小売業、卸売業などの商業活動の振興		
	7. 行事、イベント、宿泊などの観光産業の振興		
	8. 雇用の安定対策の充実		
	9. 勤労者の福利厚生者の充実		

良くなったもの	特に重要なもの
以前より良くなったものすべてにをつけてください	今後のまちづくりで特に重要と思われるものの番号を3つまでご記入ください

発展する都市圏の中核となるまち	1. 他の市町村や外国との交流の推進		番号1～13までで重要と思われるものを3つまでご記入ください。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2. 大学・研究機関の機能充実や研究開発基盤の整備		
	3. 情報通信基盤の整備		
	4. ばらのまちの基盤づくりなど福山市の知名度の向上		
	5. 近隣地域との交流の拠点となるような施設の整備		
	6. 中心市街地（福山駅周辺）の活性化		
	7. 内港周辺の整備		
	8. 市内の東西南北の拠点となる施設や機能の整備		
	9. 市街地などの景観の整備		
	10. 他の市町や他の県につながる基幹道路の整備		
	11. 高速バスや新幹線などの長距離公共交通の利便性の向上		
	12. 港湾の整備		
	13. 空港の利便性の向上		

問7 あなたは、福山市（沼隈町を含む）の住みやすさに対して、どの程度満足されていますか。福山市の住みやすさに対する総合的な「満足度」について1つ選び、番号を で囲んでください。

満足	やや満足	ええ満足	ちょうど満足	やや不満	不満
----	------	------	--------	------	----

住みやすさに対する総合的な満足度	5	4	3	2	1
------------------	---	---	---	---	---

福山市の将来像，重点的に行うべき取り組みについて

問8 あなたは、福山市は、今後、どのような将来像や考え方に基づいて、まちづくりを進めていくべきだとお考えですか。次の中から、お考えに近いものを2つまで選び、番号を で囲んでください。

1. 自然・環境	5. 活力・にぎわい	9. やすらぎ・ゆとり
2. 安心・安全	6. あたかかさ・ふれあい	10. 協働 <small>きょうどう</small>
3. 健康・福祉	7. 人権・平和	11. 子育て・教育
4. 歴史・文化	8. 交流・連携	12. その他（具体的に）

協働とは、同じ目的のために、協力して働くこと。ここでは、市民と行政とが対等な立場で責任を共有しながら目的の達成に向けて連携して取り組むことをいいます。

問9 あなたは、福山市のまちづくりでは、今後、どのような取り組みを重点的に行っていくべきだとお考えですか。次の1から44までの中で、重点的に取り組むべきだとお考えのものを5つまで選び、回答欄に番号をご記入ください。

【都市基盤】

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 幹線道路や大きな道路の整備 | 7. 公園や緑地の整備 |
| 2. 身近な生活道路の整備 | 8. 良好な景観形成 |
| 3. 鉄道やバスの利便性の向上 | 9. 港湾の整備 |
| 4. 駅周辺や市街地の整備 | 10. 下水道の整備 |
| 5. 住宅・宅地の整備 | 11. インターネットなどの情報通信基盤の整備 |
| 6. 河川・水路の整備 | 12. 人にやさしい道路や施設などの整備 |

【自然・環境】

- | | |
|---------------------|---------------|
| 13. 自然環境の保全・創出 | 15. 廃棄物の適正な処理 |
| 14. ごみの減量化・リサイクルの推進 | 16. 公害防止対策の推進 |

【福祉・保健】

- | | |
|--------------|--------------|
| 17. 高齢者福祉の充実 | 19. 保健・医療の充実 |
| 18. 障害者福祉の充実 | 20. 子育て支援の充実 |

【教育・文化】

- | | |
|------------------|------------------------|
| 21. 生涯学習・社会教育の充実 | 24. 国際交流イベントなど国際交流の推進 |
| 22. 学校教育の充実 | 25. 文化活動の推進 |
| 23. 文化財の保護 | 26. スポーツ・レクリエーション活動の推進 |

【産 業】

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 27. 農林業の振興 | 31. 新規企業の誘致や育成支援 |
| 28. 水産業の振興 | 32. 観光の振興 |
| 29. 商業・サービス業の振興 | 33. 雇用の場の確保 |
| 30. 繊維，木工，機械金属などの地場産業の振興 | |

【防災・安全】

- | | |
|-----------------|---------------|
| 34. 総合的な防災対策の充実 | 37. 交通安全対策の充実 |
| 35. 消防・救急体制の充実 | 38. 消費者保護の充実 |
| 36. 防犯対策の充実 | |

【まちづくり全般】

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 39. 市民と行政との協働によるまちづくりの推進 | 42. 男女共同参画社会の推進 |
| 40. まちづくりに関する情報提供の推進 | 43. 効率的な市政運営の推進 |
| 41. 人権の確立と平和の実現に向けた活動の推進 | |

【その他】

44. その他

【回答欄】

--	--	--	--	--

「44.その他」を記入された方は、その具体的な内容を以下にご記入ください。
(具体的に)

家庭の情報化，将来の不安について

問 10 あなたのご家庭では，どのような情報通信機器を利用されていますか。
次の中から，あてはまるものをすべて選び，番号を で囲んでください。

- 1．パソコン（インターネットに接続）
- 2．パソコン（インターネットに未接続）
- 3．携帯電話・PHS（インターネットに接続）
- 4．携帯電話・PHS（通話のみ）
- 5．PDA（携帯情報端末）
- 6．家庭用ゲーム機（インターネットに接続）
- 7．その他（具体的に _____）
- 8．いずれも利用していない

問 11 あなたやあなたのご家族は，ご家庭で過去 1 年間にインターネット（メール送受信及びインターネットのできる携帯電話を含む）を利用されたことがありますか。
次の中から，あてはまるものを 1 つ選び，番号を で囲んでください。

- 1．少なくとも 1 人はインターネットを利用したことがある
- 2．だれもインターネットを利用したことがない

問 12 あなたは，将来（今後 10 年後）に対して不安を感じていますか。
次の中から，あてはまるものを 1 つ選び，番号を で囲んでください。

- | | | |
|-------------|---|--------|
| 1．とても不安である | } | 問 13 へ |
| 2．やや不安である | | |
| 3．どちらともいえない | } | 問 14 へ |
| 4．あまり不安はない | | |
| 5．ほとんど不安はない | | |

問 13 問 12 で，「1．とても不安である」または「2．やや不安である」を選んだ方に質問します。どのようなことに不安を感じていますか。次の中から，特に不安を感じているものを 2 つまで選び，番号を で囲んでください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1．自分の健康や介護 | 6．治 安 |
| 2．家族の健康や介護 | 7．地震や台風などの災害 |
| 3．子どもの将来のこと | 8．生きがい |
| 4．家計の収入のこと | 9．年金などの国の社会保障制度 |
| 5．仕事や雇用のこと | 10．その他（具体的に _____） |

地域の活動，市民と行政の役割分担について

問 14 あなたは、現在、地域の活動に参加されていますか。
次の中からあてはまるものをすべて選び、番号を で囲んでください。

1. 自治会，町内会などの活動
2. 地域安全・交通安全活動
3. P T A や子ども会活動
4. 消防団活動
5. 趣味などの同好会活動
6. 地域おこしなどのまちづくり活動
7. ボランティア活動（具体的に ）
8. N P O 活動 （具体的に ）
9. その他 （具体的に ）
10. 参加していない

N P O (Non Profit Organization) とは、民間非営利団体（組織）と訳されます。さまざまな分野の市民運動やボランティア活動などをする人々の団体（組織）のこと。

問 15 市民参加のまちづくりを活発にするためにはどのようにすればよいとお考えですか。次の中からあてはまるものを2つまで選び、番号を で囲んでください。

1. まちづくりに関する情報を市民に積極的に提供する
2. 地域やコミュニティ を担う人材育成に対する支援を行う
3. 市民が自ら行うまちづくり活動に対する支援を行う
4. まちづくりを行う団体相互の情報交換や交流の機会や場を確保する
5. 計画づくりなどへの市民参加を積極的に行う
6. その他 （具体的に ）

コミュニティとは、人々が、地域で共同してよりよい生活条件や社会関係を実現するために取り組む活動。または、そのための組織のこと。

問 16 まちづくりにおいて、市民の積極的な参加が重要となっています。今後、あなたは、どのような分野に参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選び、番号を で囲んでください。

1. 国際交流や文化・観光
2. 人権・平和
3. 自然保護・環境問題
4. 地域の安全や防災
5. 学校教育・生涯学習
6. スポーツ・レクリエーション
7. 子育て支援
8. 高齢者・障害者の福祉
9. 産業振興
10. 公園や道路などの管理
11. その他（具体的に ）
12. 特に参加したいとは思わない

問 17 市民と行政がともに実施するまちづくりに参加される場合、どのような方法で参加されたいとお考えになりますか。次のうち、お考えに近いものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. まちづくりについての提案や意見を提出する
2. 1. の提案や意見などに基づき、事業計画を立案する
3. 事業の運営に参加する
4. 事業の実施（技術や特技の提供など）に参加する
5. 事業の実施状況などに対して提案や意見を提出する
6. その他（具体的に

**アンケートの集計・分析のための資料として、
ご記入されたご自身のことについて、おたずねします。**

問 18 あなたのお住まいは、どちらですか。あてはまる地域（小学校区）を選び、番号を で囲んでください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| 1. 手城，深津，旭 | 12. 春日，日吉台 | 23. 泉，山手 |
| 2. 西，樹徳，久松台，明王台 | 13. 神村，本郷，東村，今津 | 24. 大津野，旭丘，野々浜 |
| 3. 南，川口，多治米，川口東 | 14. 松永，柳津 | 25. 引野，長浜 |
| 4. 霞，光 | 15. 金江，藤江 | 26. 坪生，大谷台 |
| 5. 蔵王，緑丘 | 16. 東，桜丘，西深津 | 27. 宜山，駅家 |
| 6. 千田，御幸 | 17. 有磨，福相 | 28. 内浦，内海 |
| 7. 津之郷，赤坂，瀬戸 | 18. 山野，山野北 | 29. 常金丸 |
| 8. 水呑，高島 | 19. 広瀬 | 30. 網引，新市，戸手 |
| 9. 鞆 | 20. 加茂 | 31. 能登原，千年，常石 |
| 10. 走島 | 21. 服部，駅家東，駅家西 | 32. 熊野，山南 |
| 11. 伊勢丘，幕山 | 22. 箕島，曙，新涯 | |

問 19 あなたの性別はどちらですか。番号を で囲んでください。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 男 性 | 2. 女 性 |
|--------|--------|

問 20 あなたの年齢はどれにあたりますか。あてはまるものを選び、番号を で囲んでください。

- | | | | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 1. 20～24 歳 | 5. 40～44 歳 | 9. 60～64 歳 | 13. 80 歳以上 |
| 2. 25～29 歳 | 6. 45～49 歳 | 10. 65～69 歳 | |
| 3. 30～34 歳 | 7. 50～54 歳 | 11. 70～74 歳 | |
| 4. 35～39 歳 | 8. 55～59 歳 | 12. 75～79 歳 | |

問 21 あなたの世帯の構成は、どれにあたりますか。あてはまるものを選び、番号を
で囲んでください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|-----------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦 | 3. 親子 | 4. 親子・孫 | 5. その他() |
|-------|-------|-------|---------|-----------|

問 22 あなたのご職業等は、どれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び、番号を
で囲んでください。なお、複数にあてはまる場合は主なもの1つをお選びくださ
い。

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 農林漁業 | 5. パート・内職 |
| 2. 自営(商工・サービス等) | 6. 学 生 |
| 3. 会社員 | 7. 家事専業 |
| 4. 公務員・団体職員 | 8. 無 職 |

問 23 通勤・通学されている方におたずねします。通勤・通学先として、あてはまるも
のを1つ選び、番号を で囲んでください。なお、複数にあてはまる場合は主なも
の1つをお選びください。

- | | | |
|----------------|----------|-------------------------|
| 1. 福山市(沼隈町を含む) | 7. 神石高原町 | 13. 井原市 |
| 2. 尾道市 | 8. 広島市 | 14. 芳井町 |
| 3. 府中市 | 9. 三原市 | 15. その他広島県内()市・町) |
| 4. 御調町 | 10. 岡山市 | 16. その他岡山県内()市・町・村) |
| 5. 向島町 | 11. 倉敷市 | 17. その他の都道府県()都・道・府・県) |
| 6. 神辺町 | 12. 笠岡市 | |

以下の問 24 と問 25 では、旧内海町、旧新市町、現沼隈町の場合でも福山市として
ご回答ください。

問 24 あなたは、福山市にお住まいになって通算して何年になりますか。あてはまるも
のを選び、番号を で囲んでください。なお、生まれてからずっと福山市(旧内海
町、旧新市町、現沼隈町を含む)にお住まいの場合は年数にかかわらず、6. をお
選びください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 2. 1年以上5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5年以上10年未満 | 6. 生まれてからずっと |
- 最後の自由記入欄へ**

問25 問 24 で1.～5.までのどれかを選んだ方におたずねします。あなたは、福山市（旧内海町，旧新市町，現沼隈町を含む）にお住まいになる前はどちらにお住まいでしたか。あてはまるものを選び，番号を で囲んでください。

- | | | |
|-----------------|-------|----------|
| 1. 福山市の近隣市町 | (具体的に | 市・町) |
| 2. 1.以外の広島県内の市町 | (具体的に | 市・町) |
| 3. 岡山県内の市町村 | (具体的に | 市・町・村) |
| 4. その他の都道府県 | (具体的に | 都・道・府・県) |

福山市の近隣市町とは，尾道市，府中市，御調町，向島町，神辺町，神石高原町をいいます。

最後に，今後，福山市が目指すべき将来像やまちづくりのあり方などについて，ご意見等がございましたら，自由にご記入ください。

なお，ご記入いただきましたご意見などにつきましては，ご回答できませんが，本市のまちづくりに対する貴重なご意見として参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は，お手数ですが同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて，1月31日(月)までに，お近くのポストにご投函とうかんをお願いいたします。